

第70回(令和4年2月2日) 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザーボード	資料3-7
藤井先生提出資料	

現在の感染・療養状況等について

大阪府健康医療部

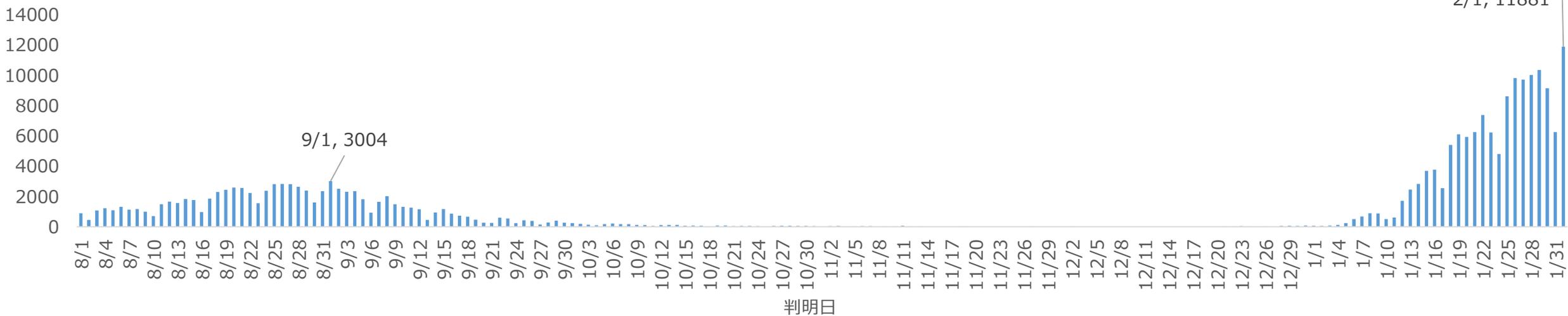
1	陽性者数等の推移	P3~11
2	感染エピソード	P12~15
3	入院・療養状況	P16~25
4	重症者・死亡例の分析	P26~34
5	感染状況を踏まえた対応	P35~39

1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移 (2月1日時点)

◆ 2月1日に過去最多の11,881人の陽性者を確認。

(人)



8月2日 緊急事態措置適用(9月30日まで)
不要不急の外出自粛要請、飲食店・一部施設への休業要請等

8月20日 適切な入場整理等の再要請(百貨店地下食品売り場は通常営業時の半数程度の入場者を目安)

8月25日 府立学校への部活動原則休止(市町村立学校・私立学校等へは休止を要請)

10月1日 緊急事態宣言解除
ゴールドステッカー認証店舗では21時までの時短営業(酒類提供は11時から20時半まで)
ゴールドステッカー未認証店舗では20時までの時短営業(酒類提供は自粛)
いずれの店舗でも、同一グループ・テーブルは4人以下かつカラオケ設備の利用自粛等

10月25日
会食を行う際の4人以内の徹底(同一テーブル4人以内・2時間程度以内での飲食・ゴールドステッカー認証店舗利用・マスク会食)など

11月8日 水際措置の見直し(ワクチン接種者自宅待機10日を3日+行動管理7日に変更、外国人の新規入国制限見直し)

11月30日 全世界対象に外国人新規入国を停止

11月26日 南アフリカなど6か国(27日に10か国に拡大)からの帰国者に10日間待機を要請

1月6日 大阪モデル 見張り番指標「感染拡大の兆候を探知」

1月8日 大阪モデル 警戒「ステージ移行(黄色信号点灯)」

1月21日 まん延防止等重点措置適用を国に要請

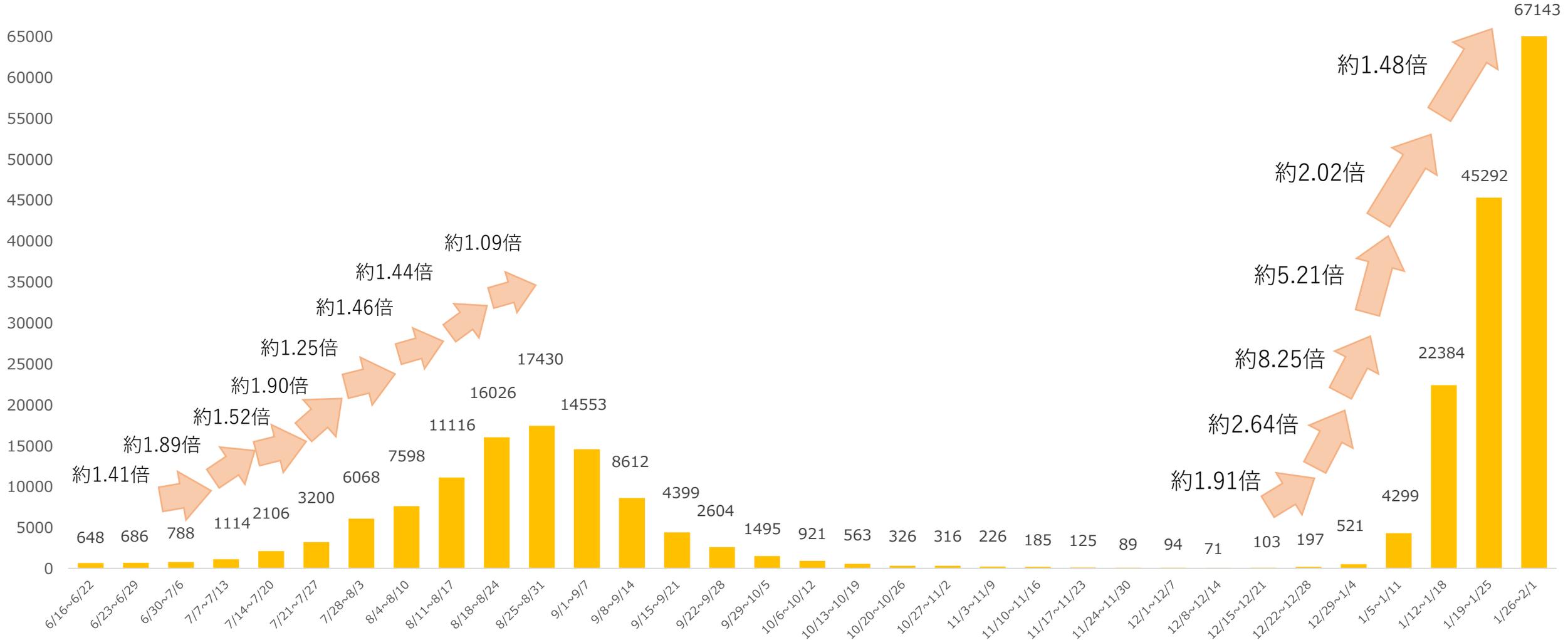
1月24日 大阪モデル 非常事態「ステージ移行(赤色信号点灯)」

1月27日 まん延防止等重点措置適用(2月20日まで)

7日間毎の新規陽性者数(2月1日時点)

◆ 依然、大規模な感染拡大が継続中。(直近1週間の一日平均は約9,600人)

(人)



新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移

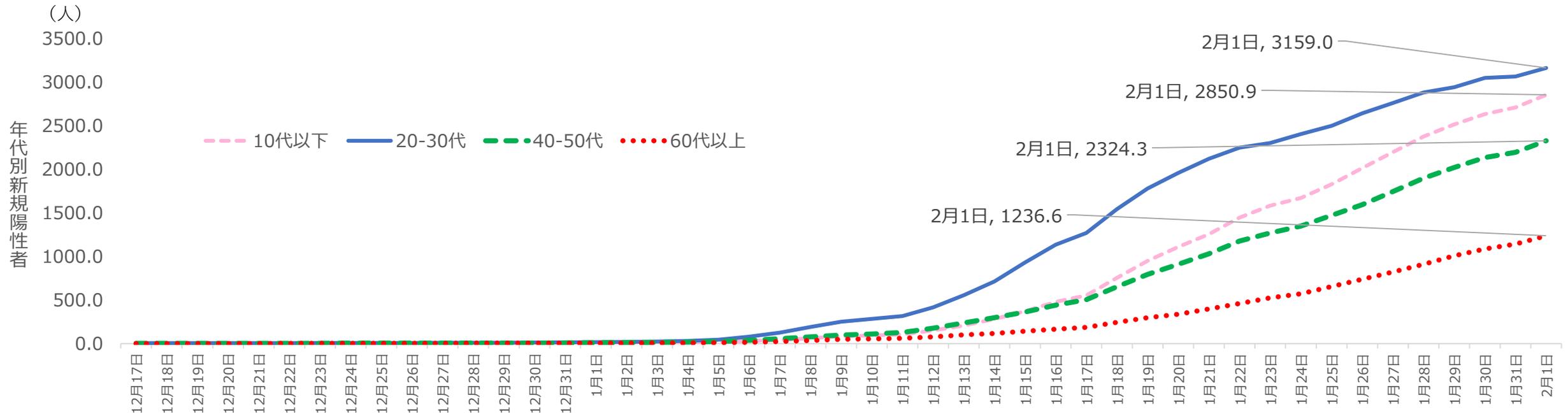
上段：新規陽性者数
下段：前週同曜日増加比

◆ 各曜日の新規陽性者数は、前週同曜日より依然、増加。

	日	月	火	水	木	金	土	
1月	26	27	28	29	30	31	1/1	週合計
	30	11	51	61	52	78	70	353
	(2.30)	(3.67)	(1.89)	(2.54)	(1.58)	(3.00)	(3.18)	(2.39)
	2	3	4	5	6	7	8	週合計
	57	79	124	244	505	671	891	2,571
	(1.90)	(7.18)	(2.43)	(4.00)	(9.71)	(8.60)	(12.73)	(7.28)
	9	10	11	12	13	14	15	週合計
	876	499	613	1,711	2,452	2,826	3,692	12,669
	(15.37)	(6.32)	(4.94)	(7.01)	(4.86)	(4.21)	(4.14)	(4.93)
	16	17	18	19	20	21	22	週合計
	3,760	2,549	5,395	6,101	5,933	6,252	7,375	37,365
	(4.29)	(5.11)	(8.80)	(3.57)	(2.42)	(2.21)	(2.00)	(2.95)
	23	24	25	26	27	28	29	週合計
	6,219	4,800	8,612	9,812	9,711	10,013	10,350	59,517
	(1.65)	(1.88)	(1.60)	(1.61)	(1.64)	(1.60)	(1.40)	(1.59)
	30	31	2/1	2	3	4	5	週合計
9,133	6,243	11,881						
(1.47)	(1.30)	(1.38)						

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（2月1日時点）

◆ 各年代ともに、新規陽性者数の増加が続いている。20・30代の前日増加比は他の年代に比べ、やや鈍化傾向。



【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）前日増加比】

	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
曜日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10代以下	1.12	1.13	1.43	1.36	1.37	1.32	1.29	1.15	1.36	1.26	1.17	1.13	1.15	1.10	1.06	1.09	1.10	1.09	1.08	1.06	1.05	1.08	1.05
20~30代	1.13	1.12	1.32	1.33	1.28	1.31	1.22	1.12	1.21	1.15	1.10	1.08	1.06	1.02	1.04	1.04	1.06	1.05	1.04	1.02	1.04	1.05	1.03
40~50代	1.12	1.16	1.37	1.35	1.24	1.23	1.21	1.14	1.30	1.22	1.15	1.13	1.14	1.08	1.06	1.09	1.08	1.10	1.09	1.07	1.06	1.07	1.06
60代以上	1.12	1.12	1.26	1.31	1.15	1.21	1.17	1.12	1.32	1.21	1.14	1.18	1.16	1.14	1.09	1.14	1.13	1.11	1.11	1.11	1.08	1.10	1.08

年代別性者数の年代構成（1月30日時点）

◆ 1月中旬以降、陽性者数に占める20・30代の割合が減少し、20代未満と60代以上の割合が増加傾向。

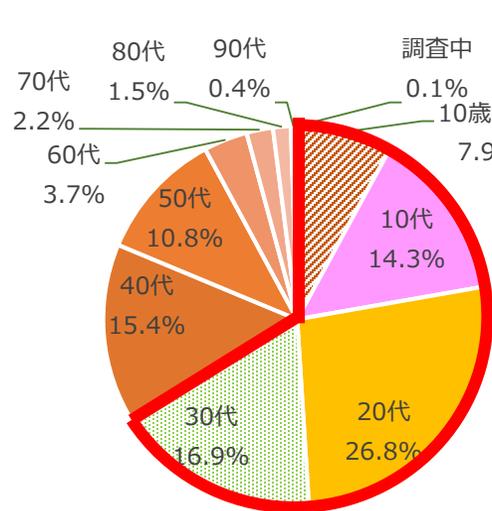
■ 第五波・第六波の新規陽性者の年代構成

■ 第六波の新規陽性者の年齢区分（割合、2週間単位）

陽性者の年齢区分（割合、2週間単位）

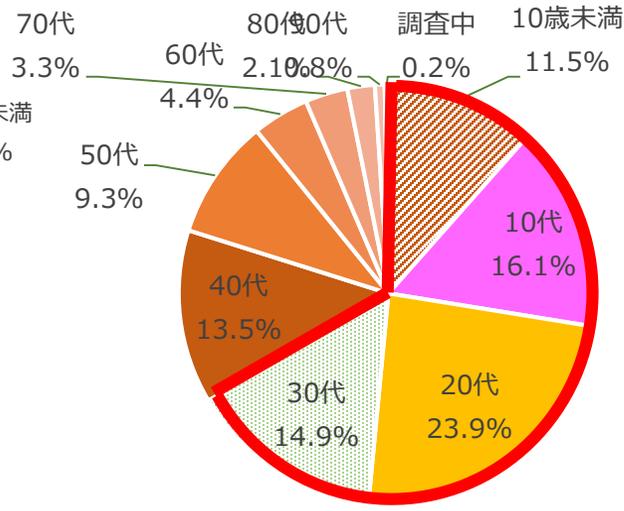
第五波(6.21-12.16)

100,891人

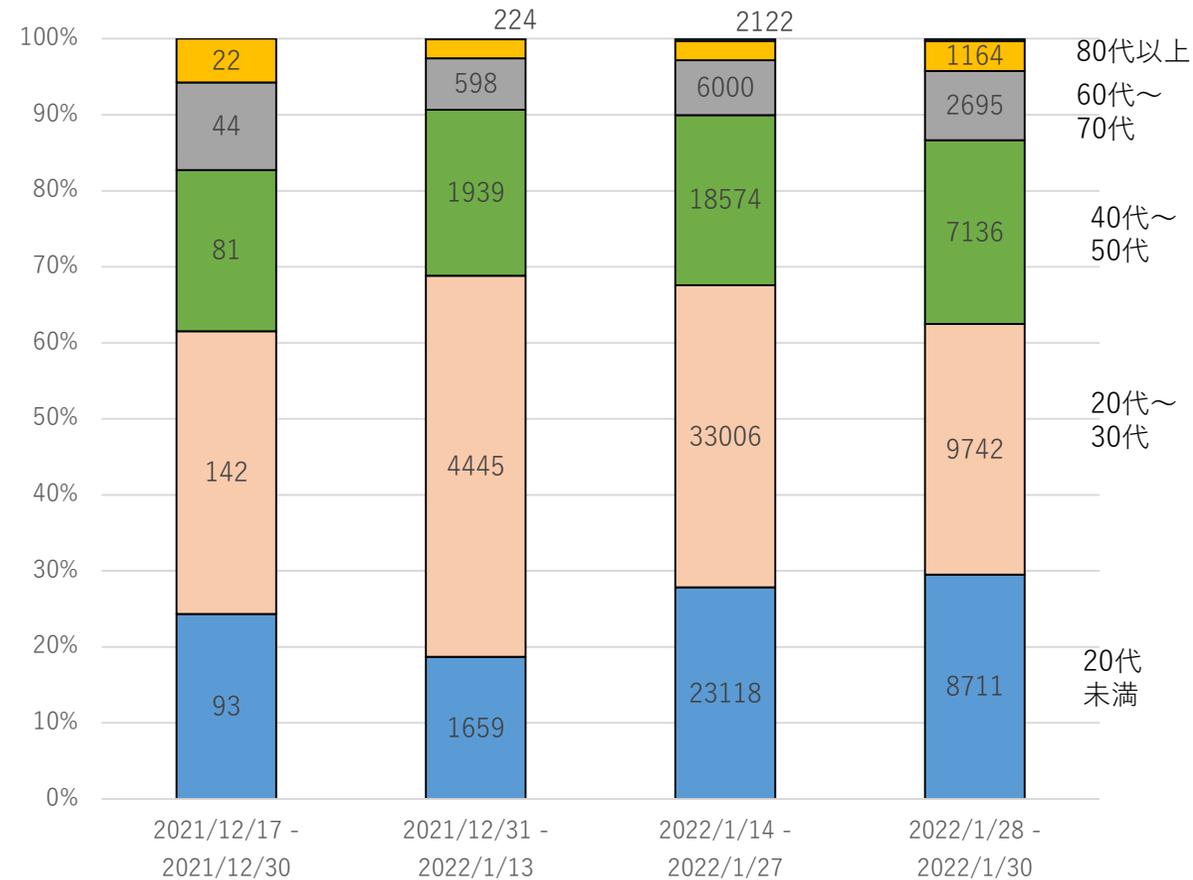


第六波(12.17-1.30)

121,819人



	第五波	第六波
30代以下の割合 (うち、10代以下の割合)	65.9% (22.2%)	66.4% (27.6%)
40・50代の割合	26.2%	22.8%
60代以上の割合	7.8%	10.6%



(3日間)

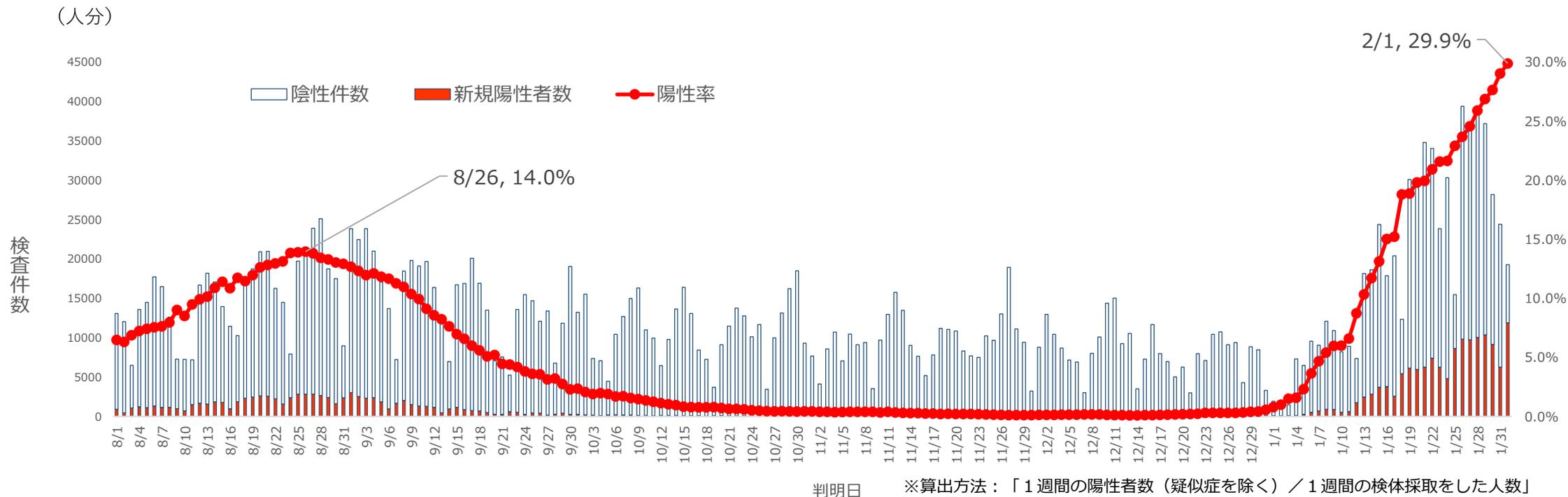
■ 20代未満 ■ 20代~30代 ■ 40代~50代 ■ 60代~70代 ■ 80代以上 ■ 調査中

調査中除く

検査件数と陽性率

◆ 陽性率は依然、高水準で増加。無料検査の陽性率も約8%と極めて高く、市中で感染がまん延。

【行政検査】



【自費検査】

自費検査（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び
新型コロナ検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/3～1/9	7,540 件	180 名	2.4 %
1/10～1/16	15,050 件	424 名	2.8 %
1/17～1/23	27,585 件	767 名	2.8 %

【無料検査】

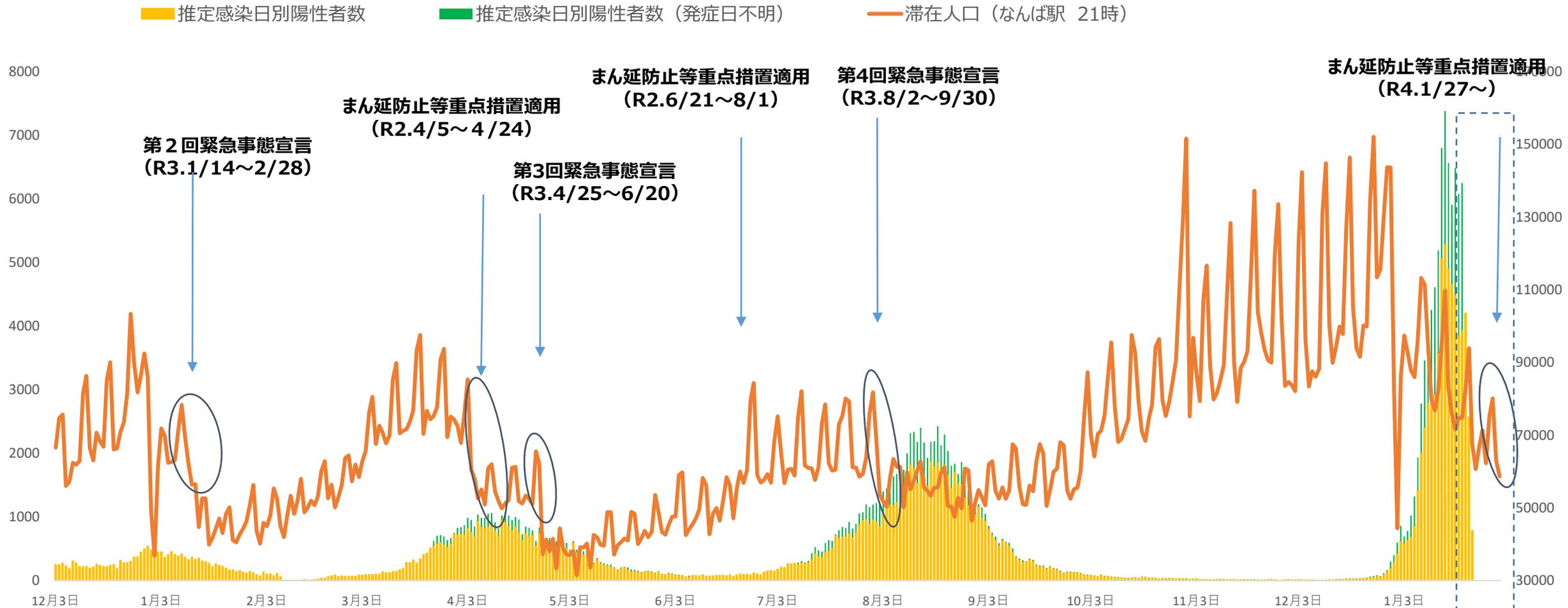
新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数
（ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/3～1/9	21,246 件	415 名	2.0 %
1/10～1/16	43,460 件	2,124 名	4.9 %
1/17～1/23	66,943 件	5,157 名	7.7 %

※ 1 陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としています。
(陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査のいずれで陽性となったかは区別ができません。)

令和2年12月以降の推定感染日別陽性者数と人流（夜間）

◆ 第六波におけるまん延防止等重点措置適用前から人流は減少。ただし、過去の措置あるいは緊急事態措置期間中ほどには減少していない。



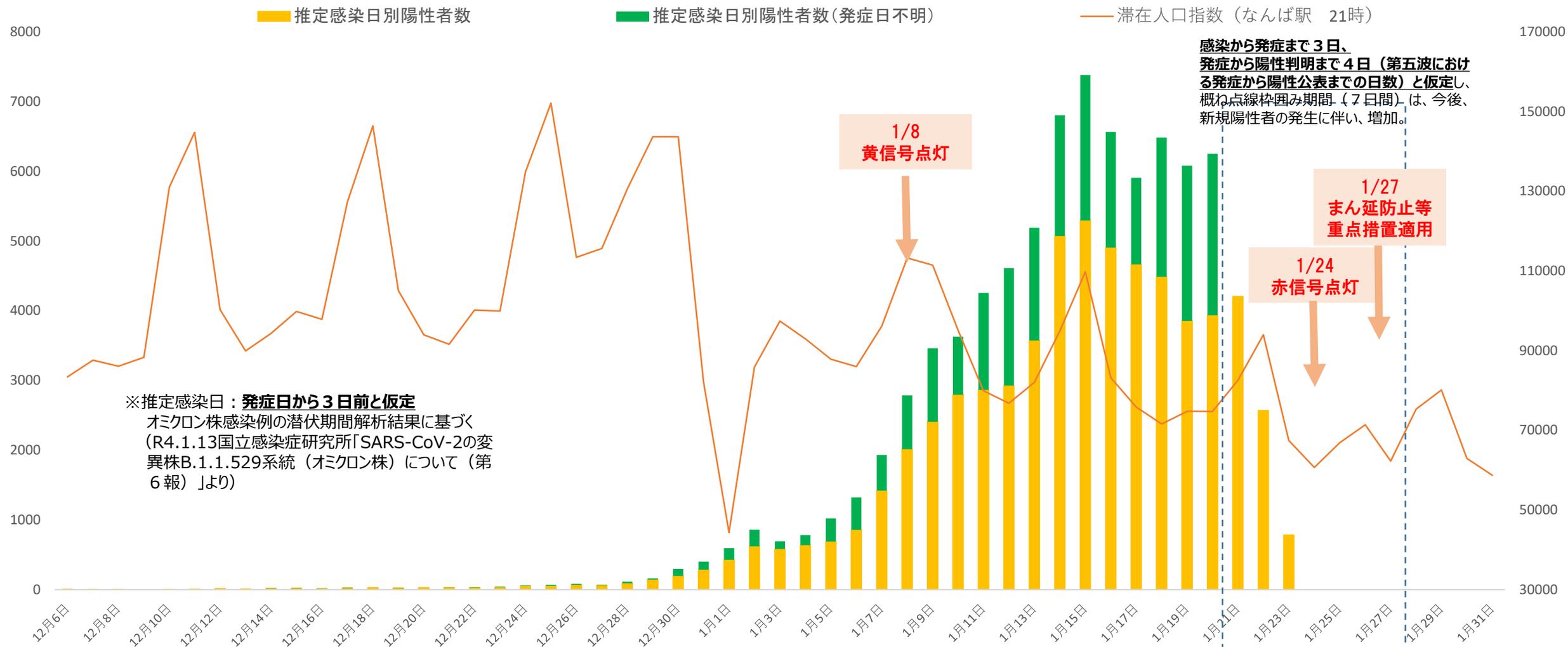
第五波までは、感染から発症まで6日、発症から陽性判明まで7日と仮定。第六波は、感染から発症まで3日、発症から陽性判明まで4日と仮定。点線枠囲み期間（7日間）は、今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。

人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】

推定感染日別陽性者数と人流（夜間）（1月27日時点）

◆ 推定感染日別陽性者数は、高止まりの状態。

（12月17日以降 1月27日までの判明日分85,695名（調査中、無症状除く））



※有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から7日遡って算出
 人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】

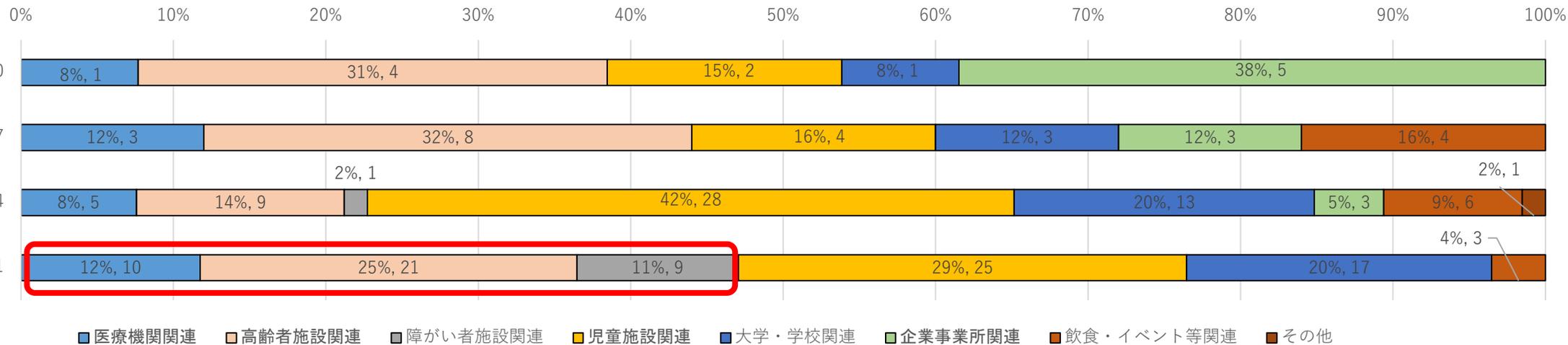
2 感染エピソード

第六波のクラスター状況【割合】

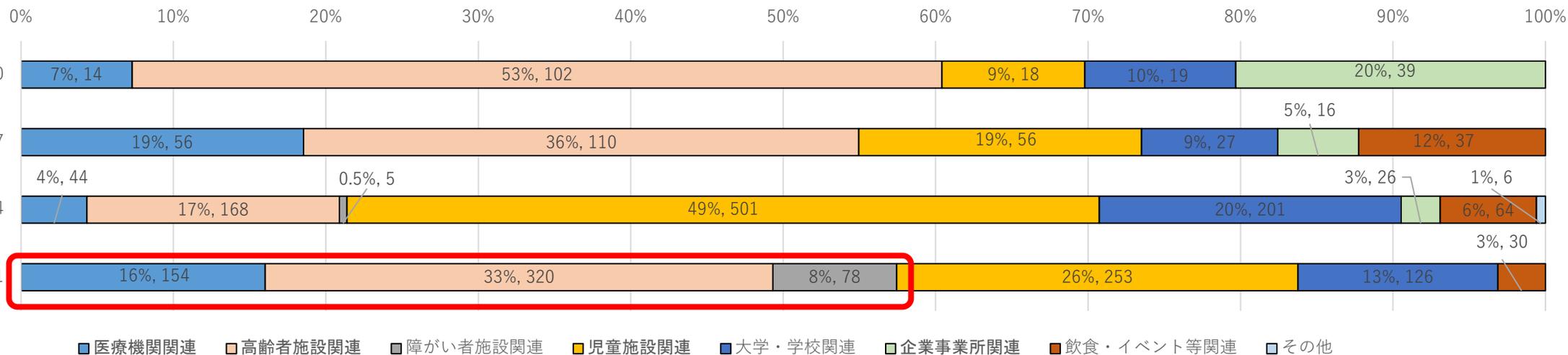
◆ 直近1週間の施設数・陽性者数ベースいずれも、医療機関関連、高齢者施設関連、障がい者施設関連が全体に占める割合が増加。

施設数（割合）

本人からの聞き取り情報による



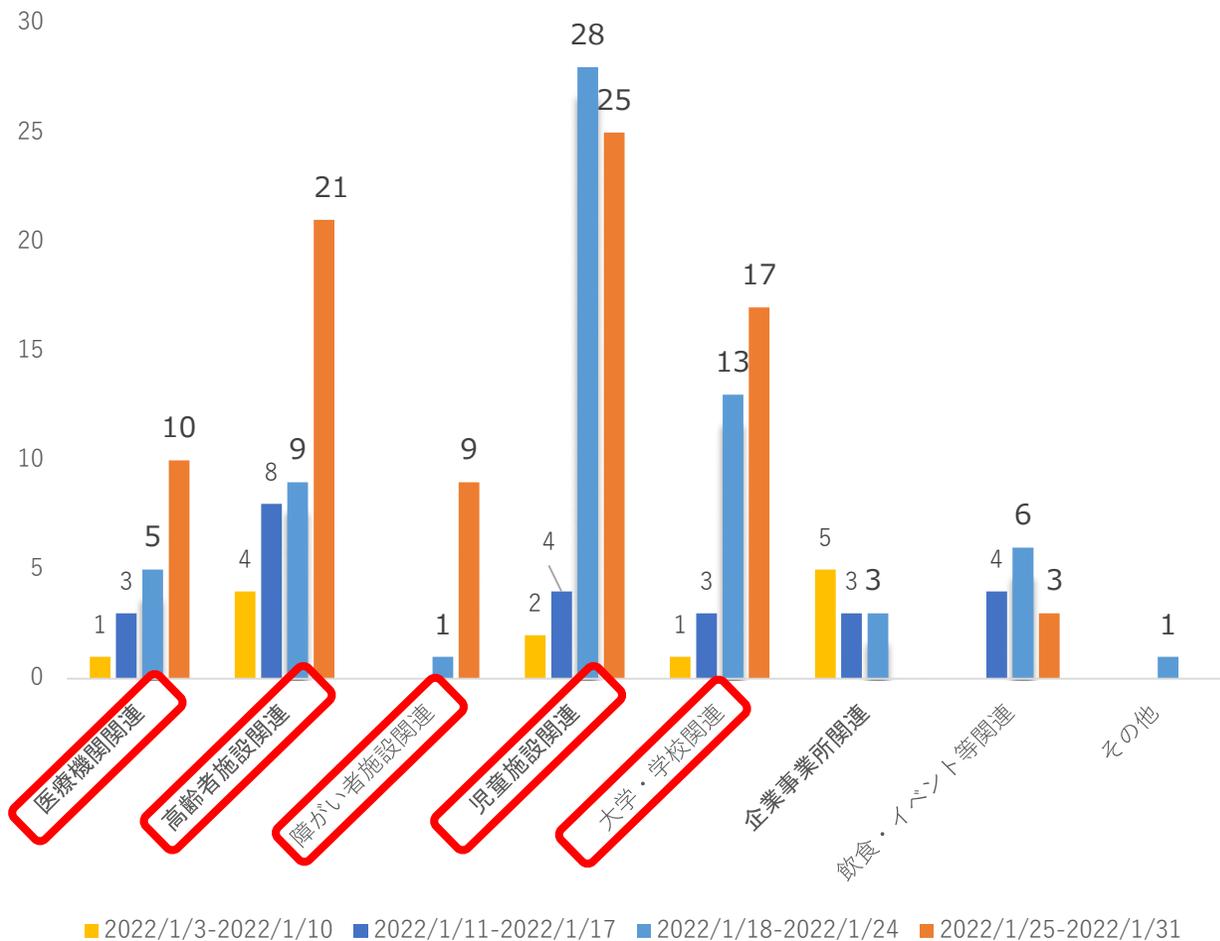
陽性者数（割合）



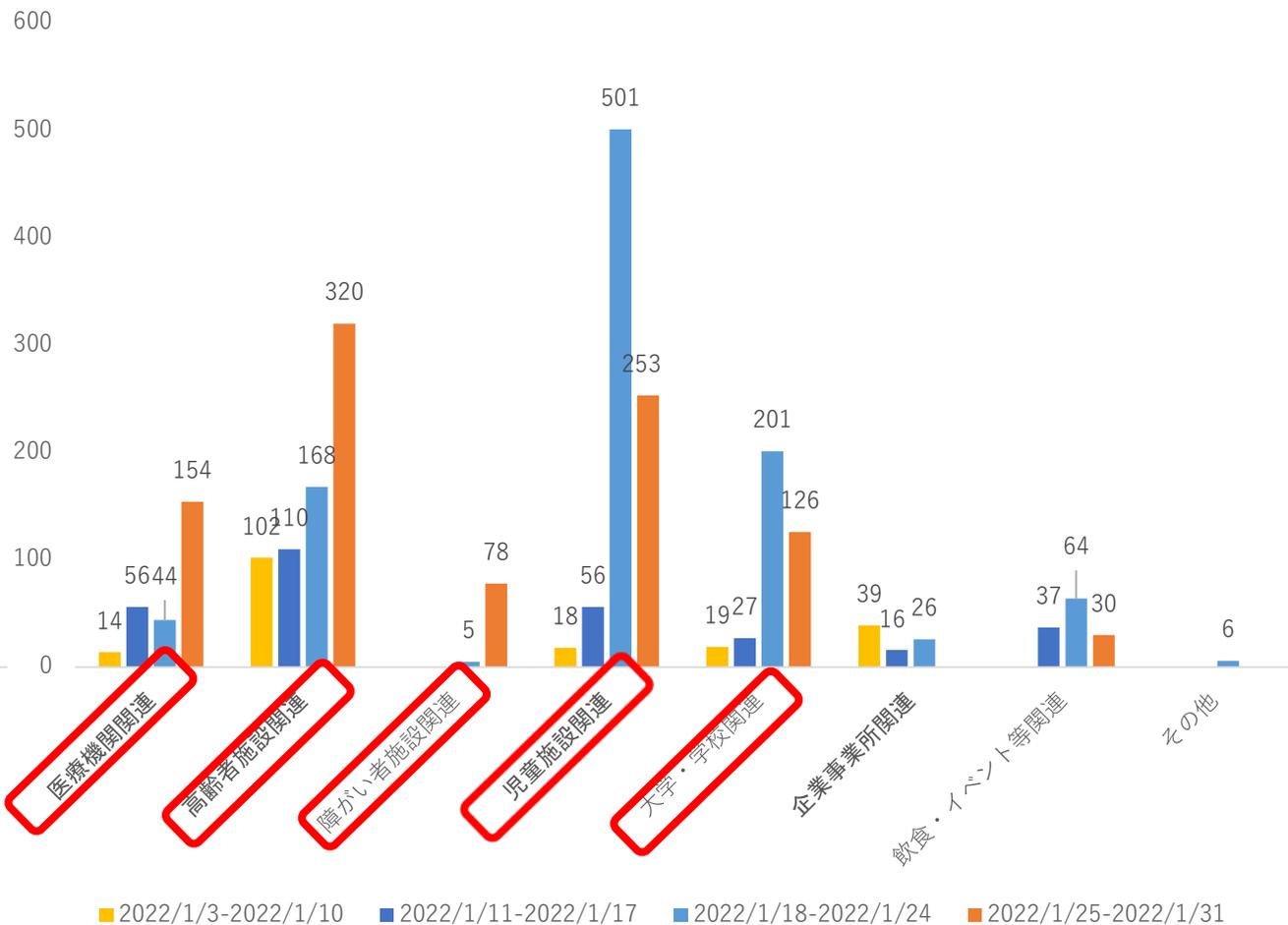
第六波のクラスター状況【実数】

◆ 直近1週間の施設数・陽性者数ベースいずれも、医療機関関連、高齢者施設関連、障がい者施設関連が増加。児童施設関連、大学・学校関連も依然高水準で発生。

クラスターの施設数



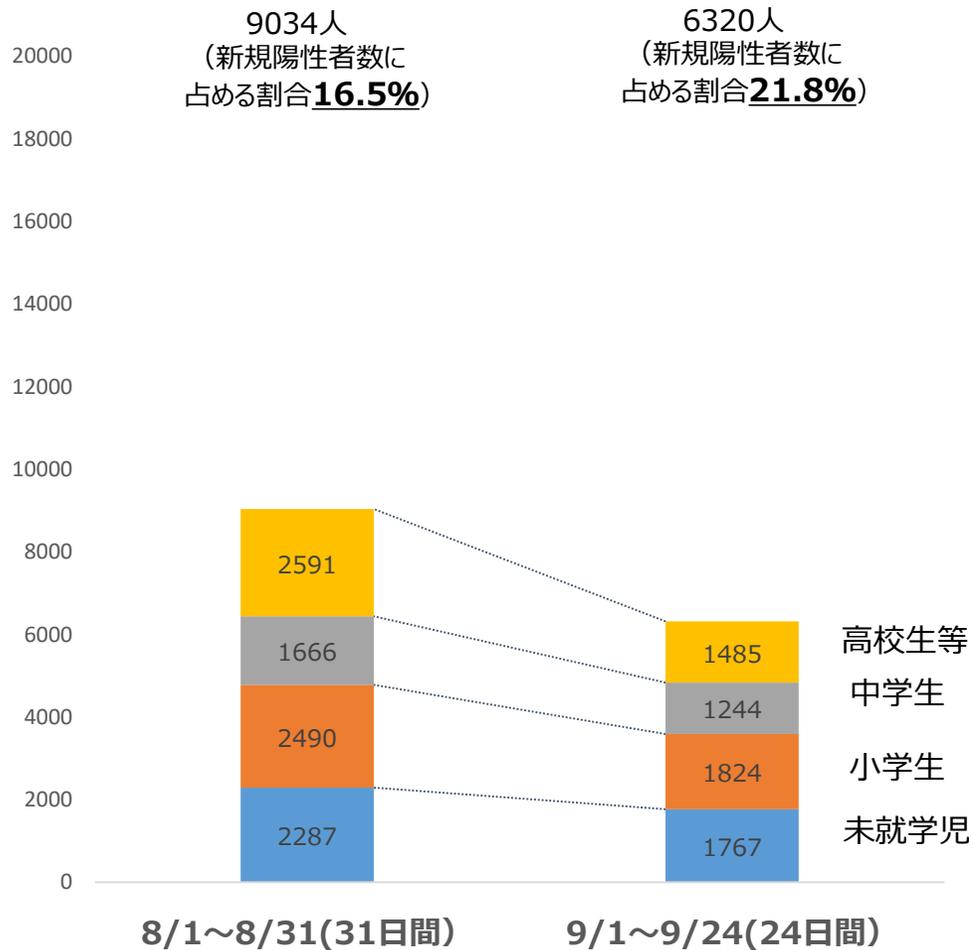
クラスターの陽性者数



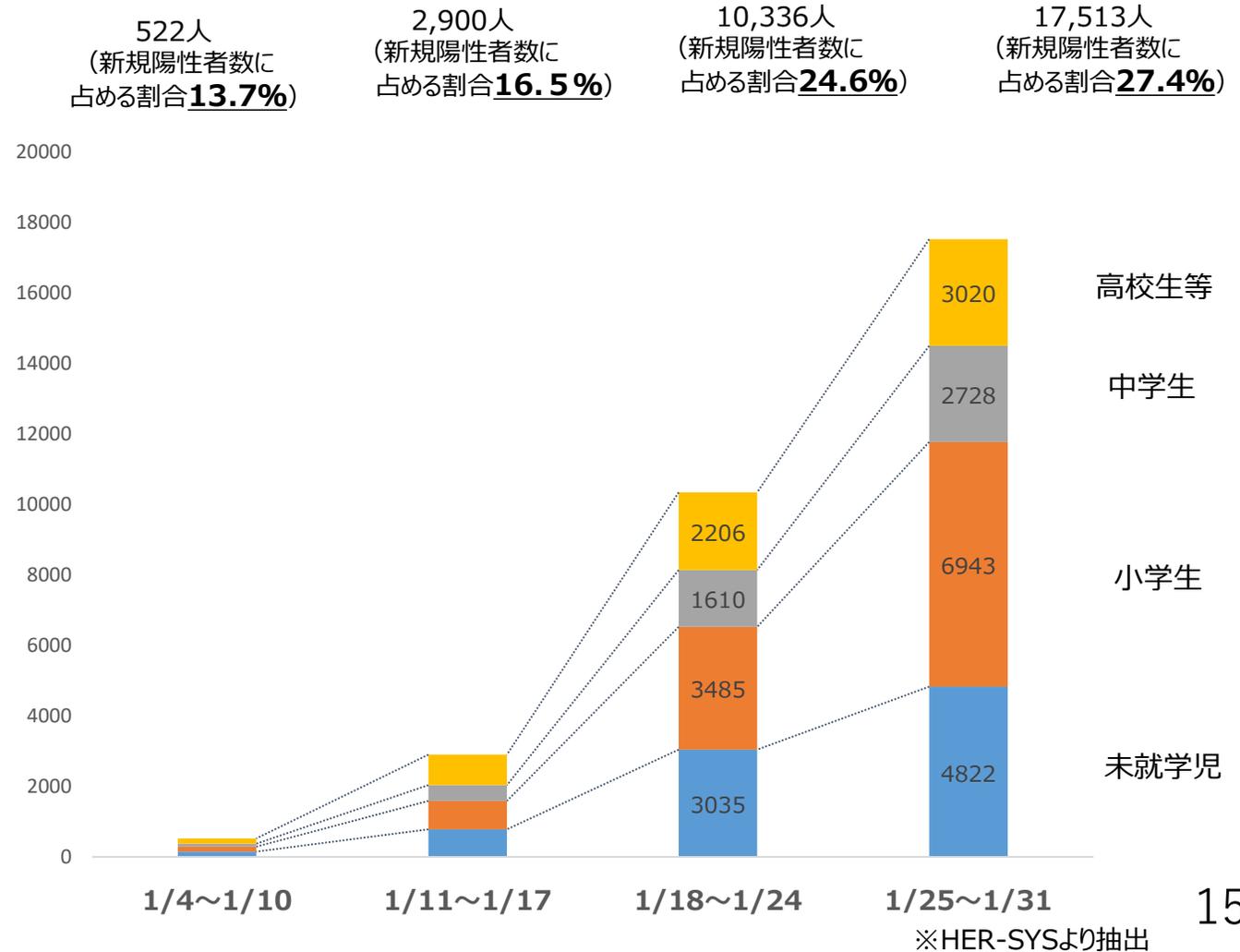
第五波と第六波の18歳以下の新規陽性者の推移

◆ 第六波では、1月11日の学校再開以降、18歳以下の新規陽性者数が急増。直近1週間で全陽性者の約3割を占めている。

■ 第五波 18歳以下新規陽性者数の推移（8/1～9/24時点）



■ 第六波 18歳以下新規陽性者数の推移（1/4～1/31時点）



※HER-SYSより抽出

3 入院・療養状況

入院・療養状況(2月1日時点)

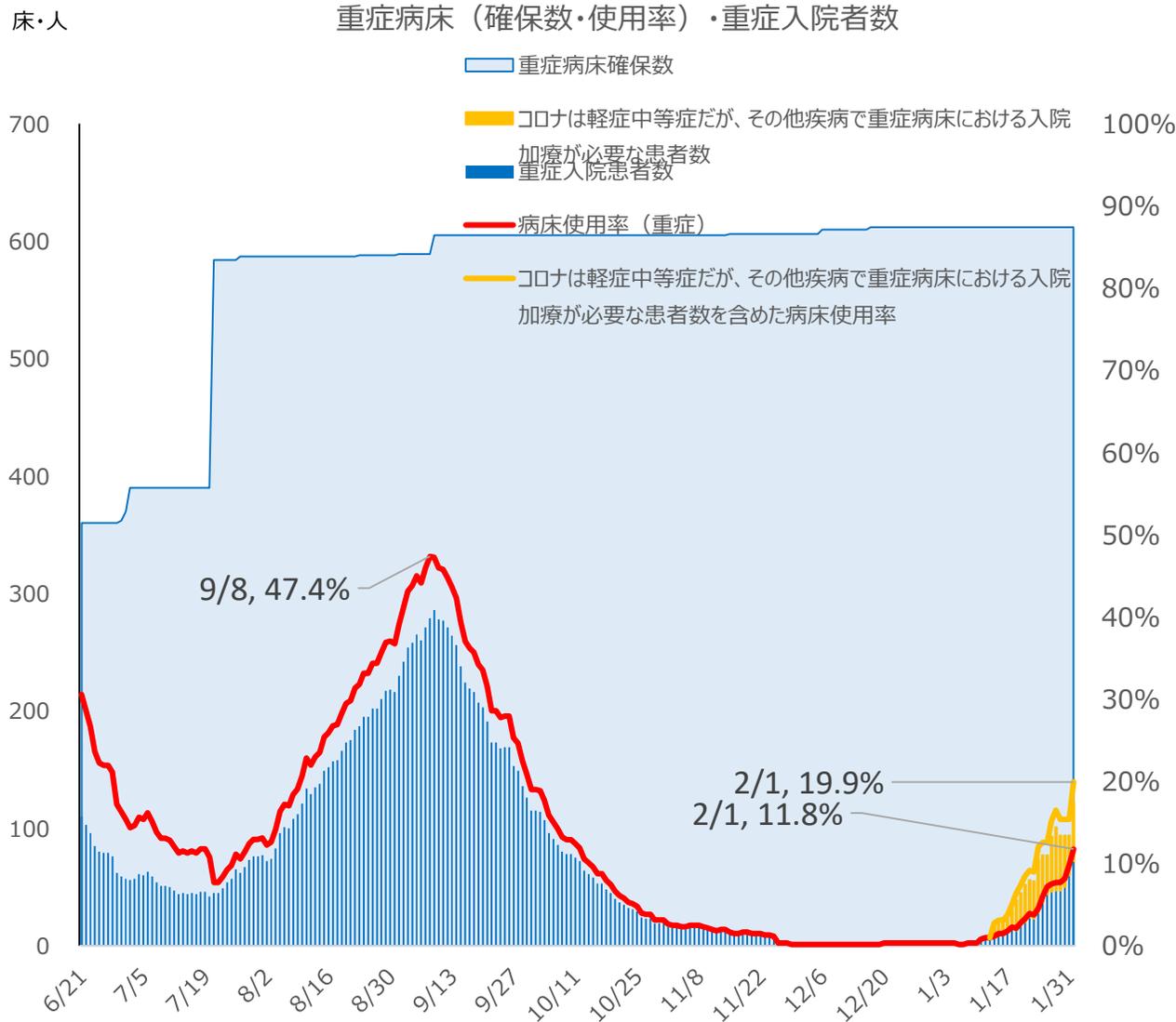
		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	170床	1,300床	800室
	フェーズ2	240床	2,050床	1,600室
	フェーズ3	330床	2,400床	2,400室
	フェーズ4	420床(非常事態)	2,700床	4,000室
	フェーズ5	610床(災害級非常事態)	3,100床(災害級非常事態)	6,000室
	フェーズ6	-	-	8,500室
	フェーズ7	-	-	10,000室(災害級非常事態)
確保数等		確保数612床	確保数3,141床	10,423室
入院・療養者数 ※別途、自宅療養 33,014人、 入院療養等調整中 50,770人		72人	2,516人 ※ コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数(以下、「その他疾病患者等」という。)50人を含む。	2,177人
使用率		11.8% (72/612) 「その他疾病患者等」50人を含めた使用率 19.9% (122/612)	80.1% (2,516/3,141) 「その他疾病患者等」50人を除いた使用率 78.5% (2,466/3,141)	20.9% (2,177/10,423)
運用率		25.7% (72/280) 「その他疾病患者等」50人を含めた運用率 43.6% (122/280)	84.1% (2,516/2,991) 「その他疾病患者等」50人を除いた運用率 82.4% (2,466/2,991)	21.3% (2,177/10,242)

上記以外に、大阪コロナ大規模医療・療養センター(無症状・軽症者用)(1月31日運用開始) 2/1時点 使用率0%(0/1,000)、運用率0%(0/500)

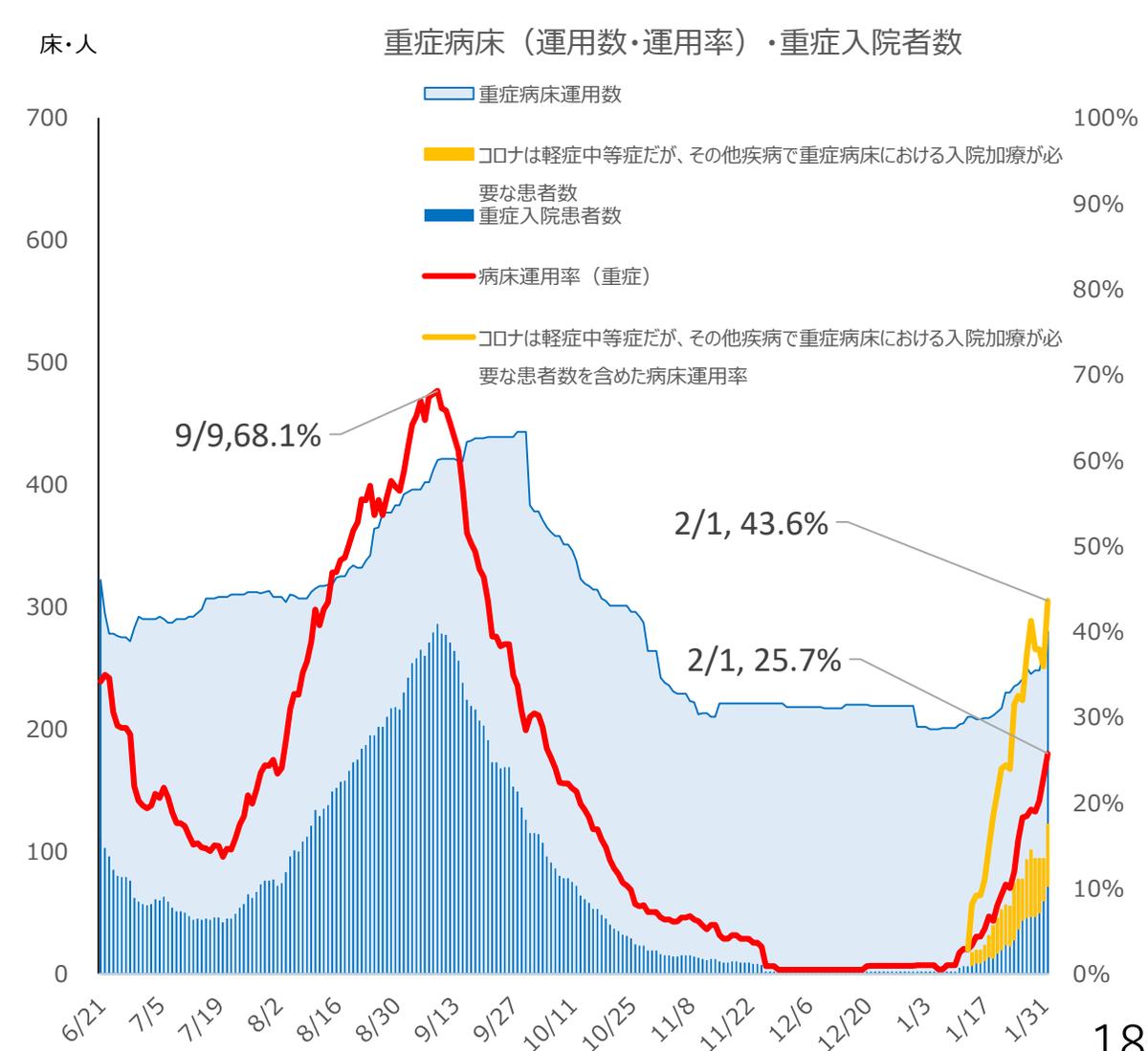
新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

◆ 陽性者数急増に伴い、重症者数も増加し、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を含めた病床使用率は19.9%。

● 確保病床と使用率



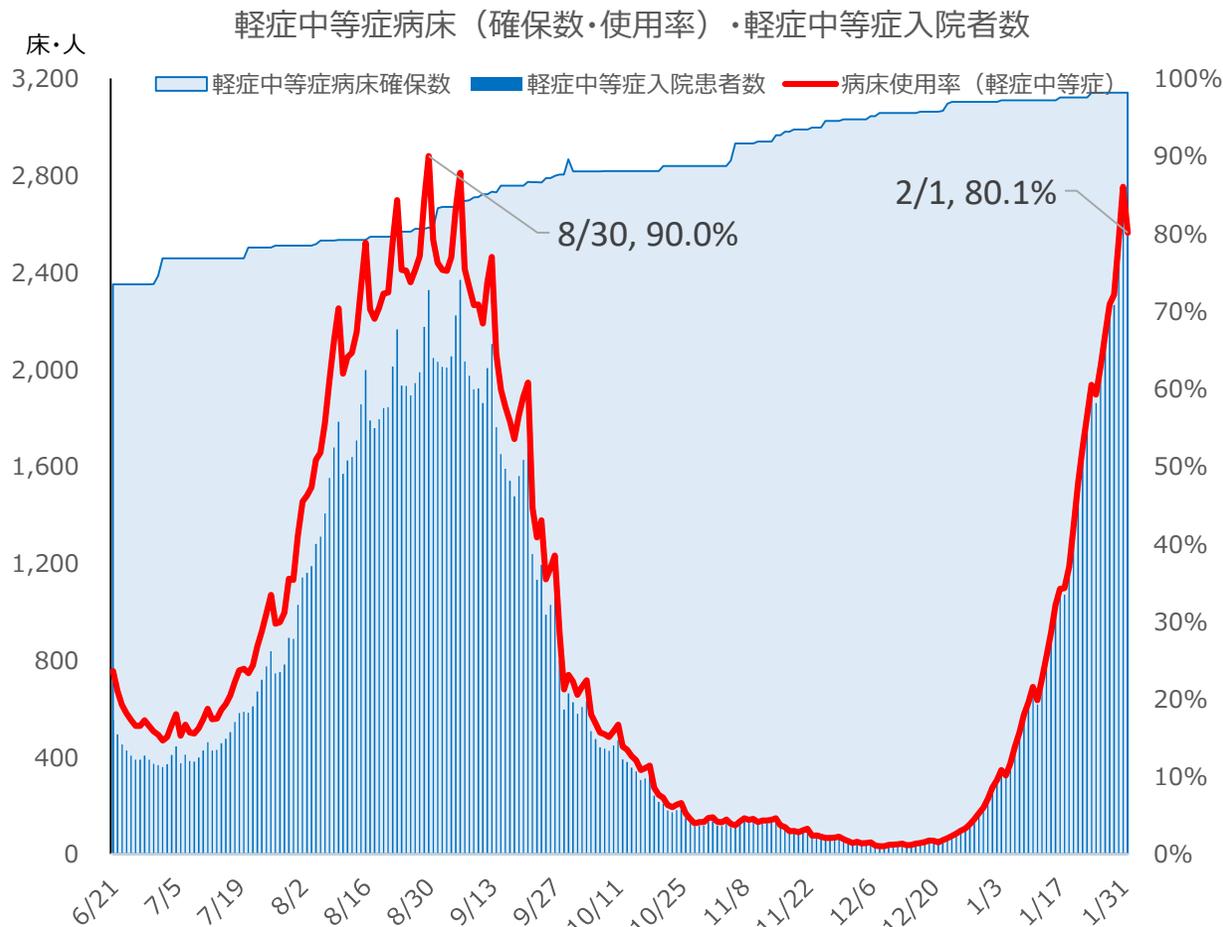
● 運用病床と運用率



新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

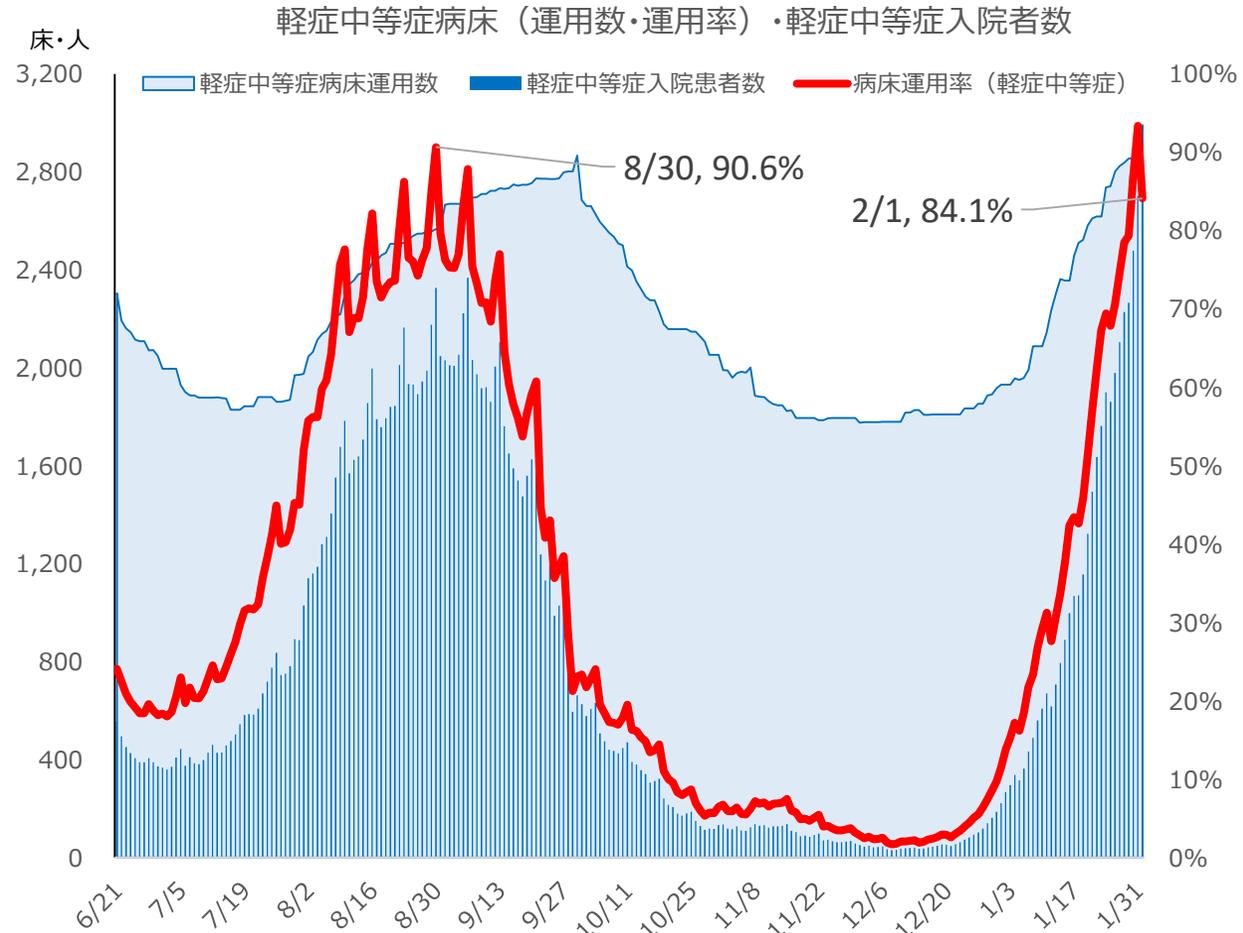
◆ 軽症中等症病床使用率は、8割を超過。運用率（災害級非常事態のフェーズ5で運用中）は84.1%とひっ迫。

● 確保病床と使用率



軽症中等症入院患者数には、「コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数」を含む。当該人数を除いた場合の使用率は、**78.5%**

● 運用病床と運用率

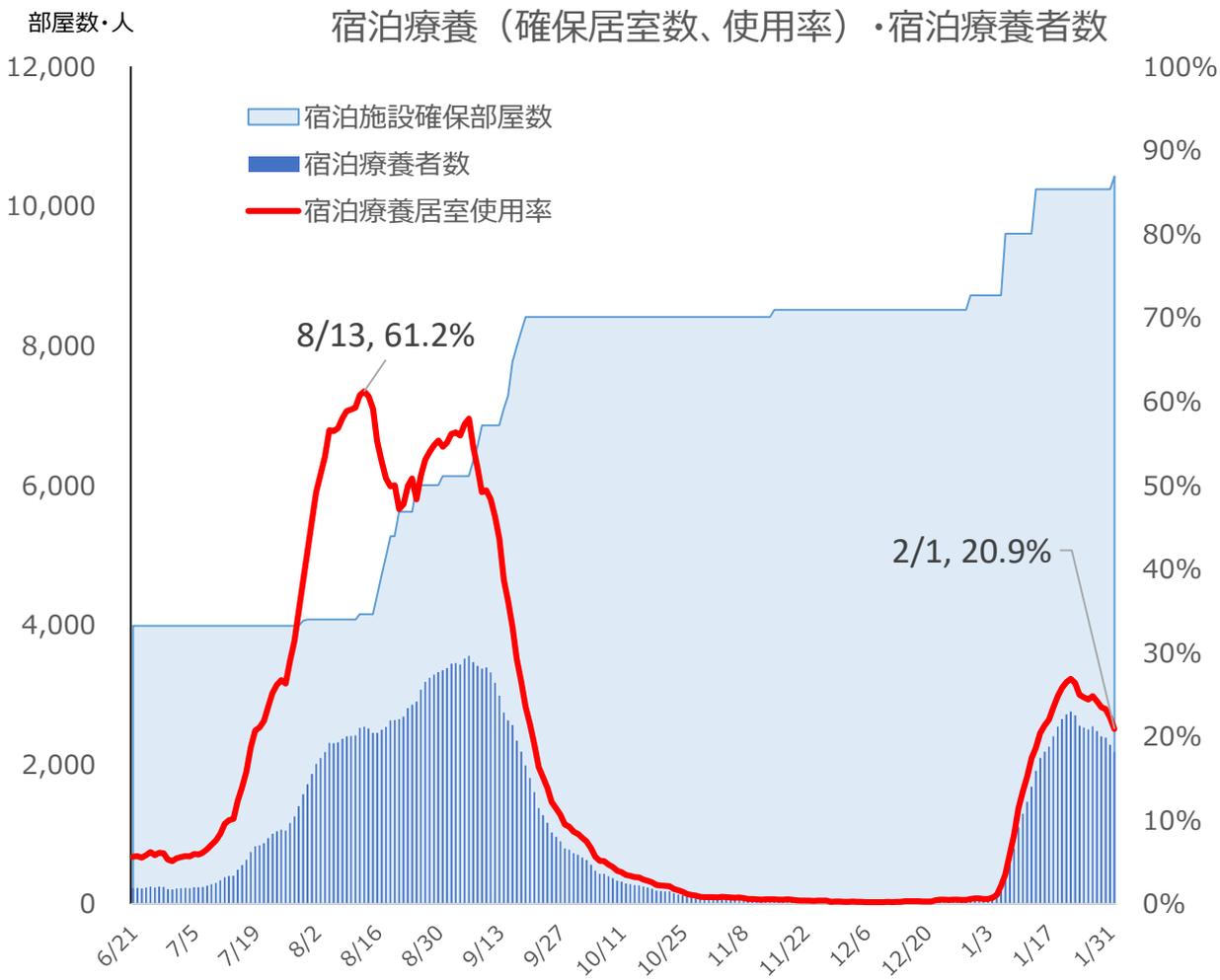


軽症中等症入院患者数には、「コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数」を含む。当該人数を除いた場合の運用率は、**82.4%**

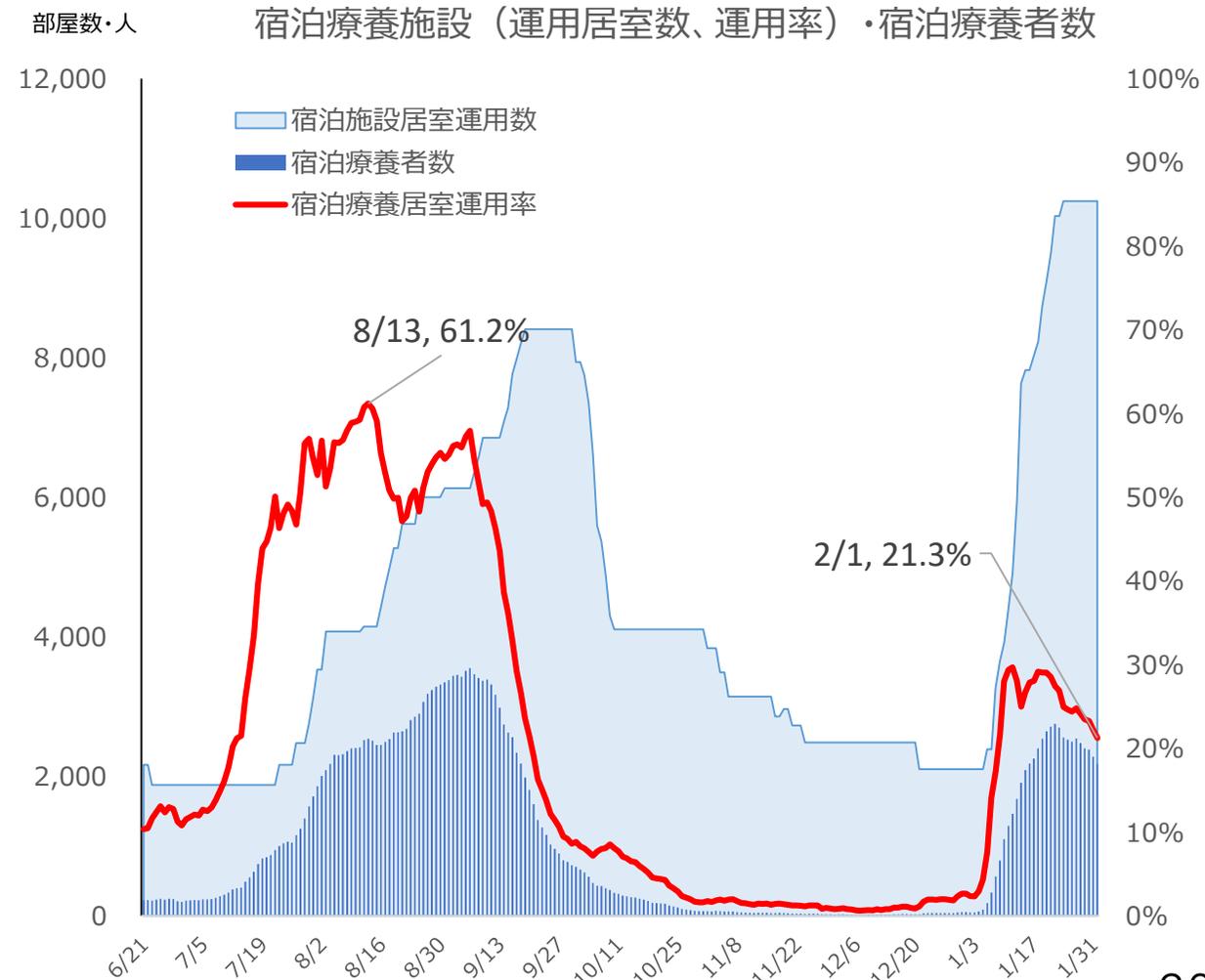
新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設の確保・運用状況

◆ 宿泊療養施設居室使用率は、2割程度で推移。

● 確保居室数と使用率

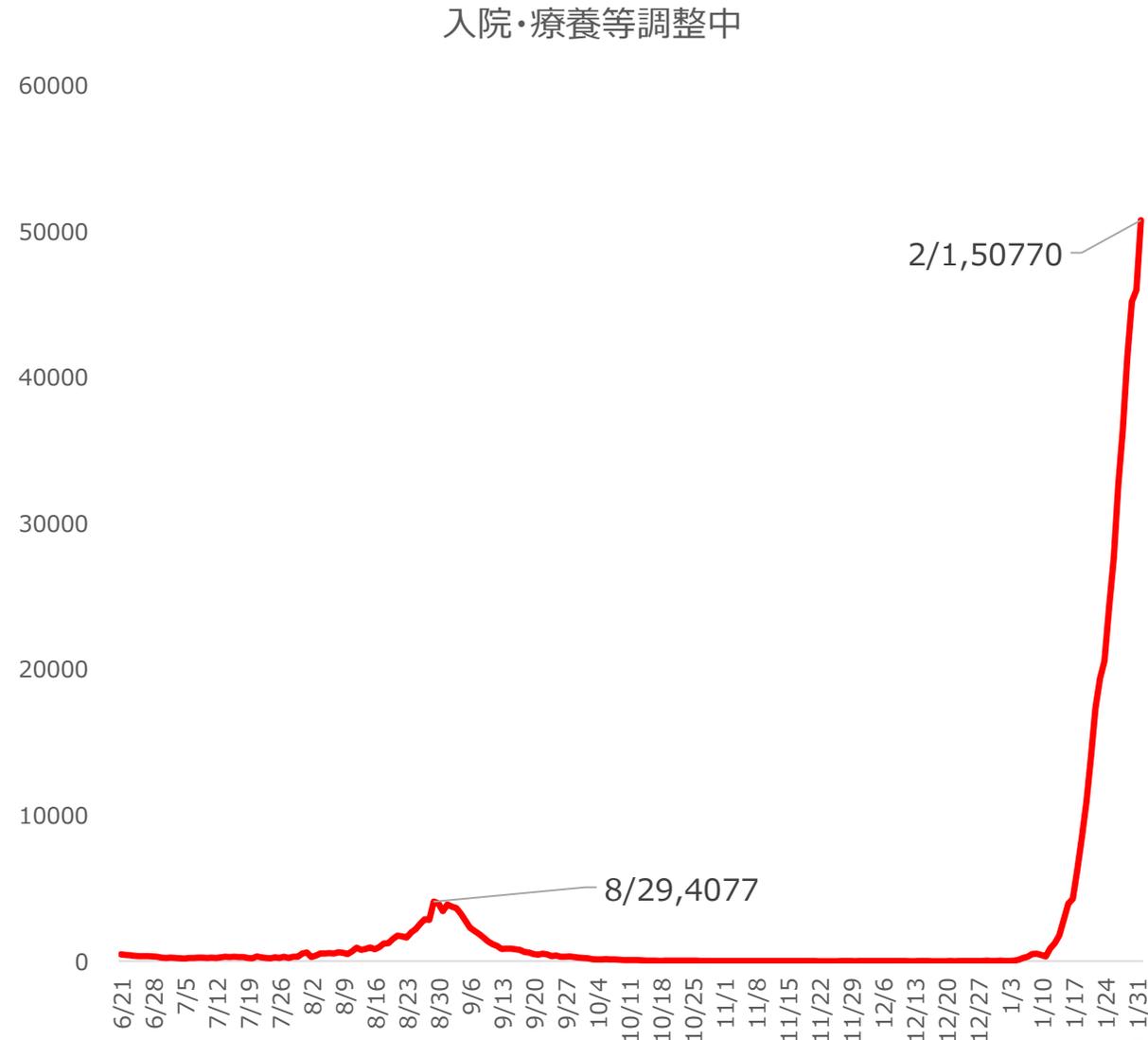
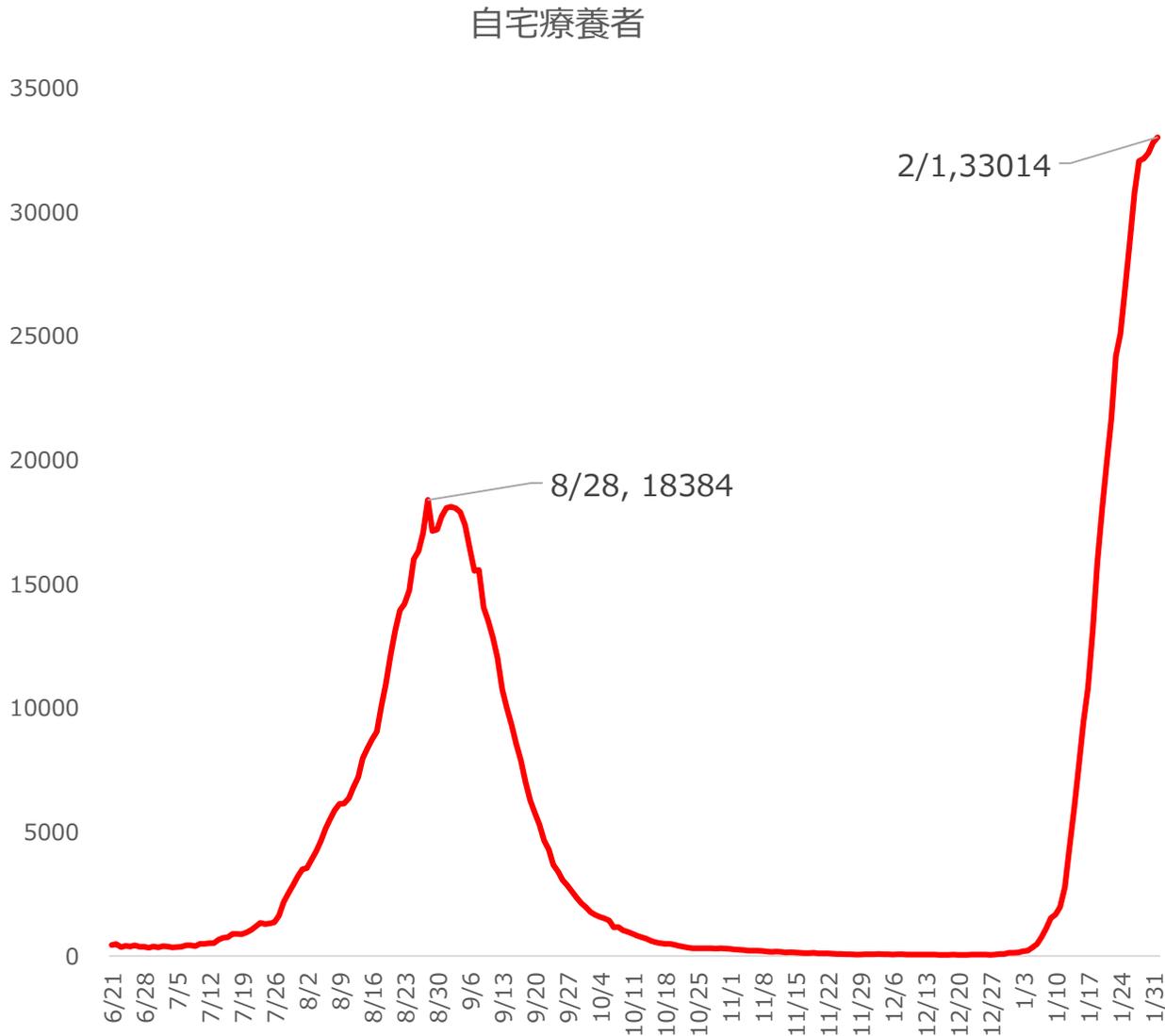


● 運用居室数と運用率



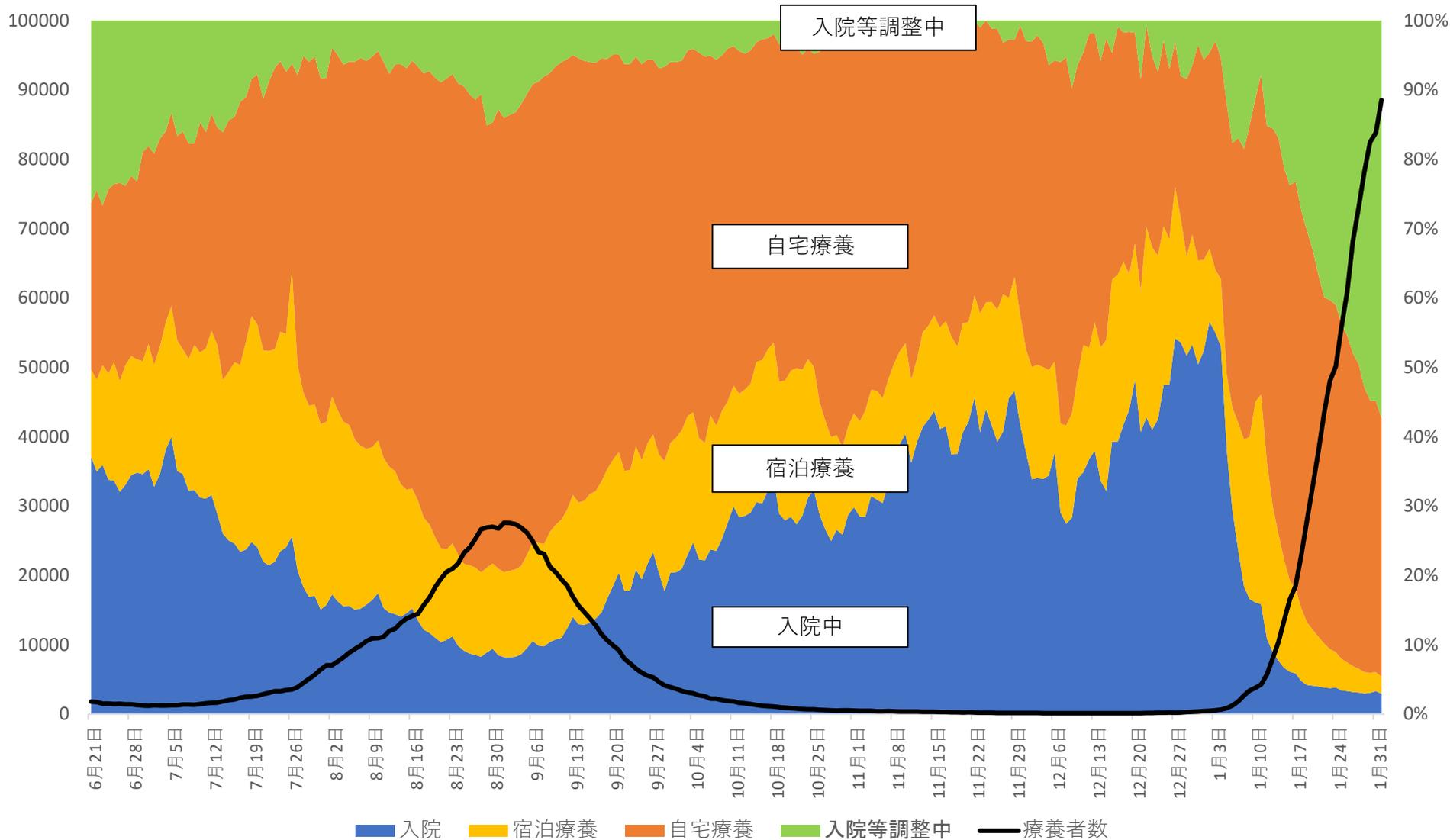
新型コロナウイルス感染症自宅療養者数 入院・療養調整中の患者数

◆ 自宅療養者数及び入院・療養等調整中が急増。



入院・療養状況（2月1日時点）

◆ 入院率は、2月1日時点で2.9%。



	第五波 (9/1)	2 / 1
入院等調整中	14.1%	57.3%
自宅療養	65.5%	37.3%
宿泊療養	12.2%	2.5%
入院中	8.2%	2.9%
療養者数	27,587	88,549人

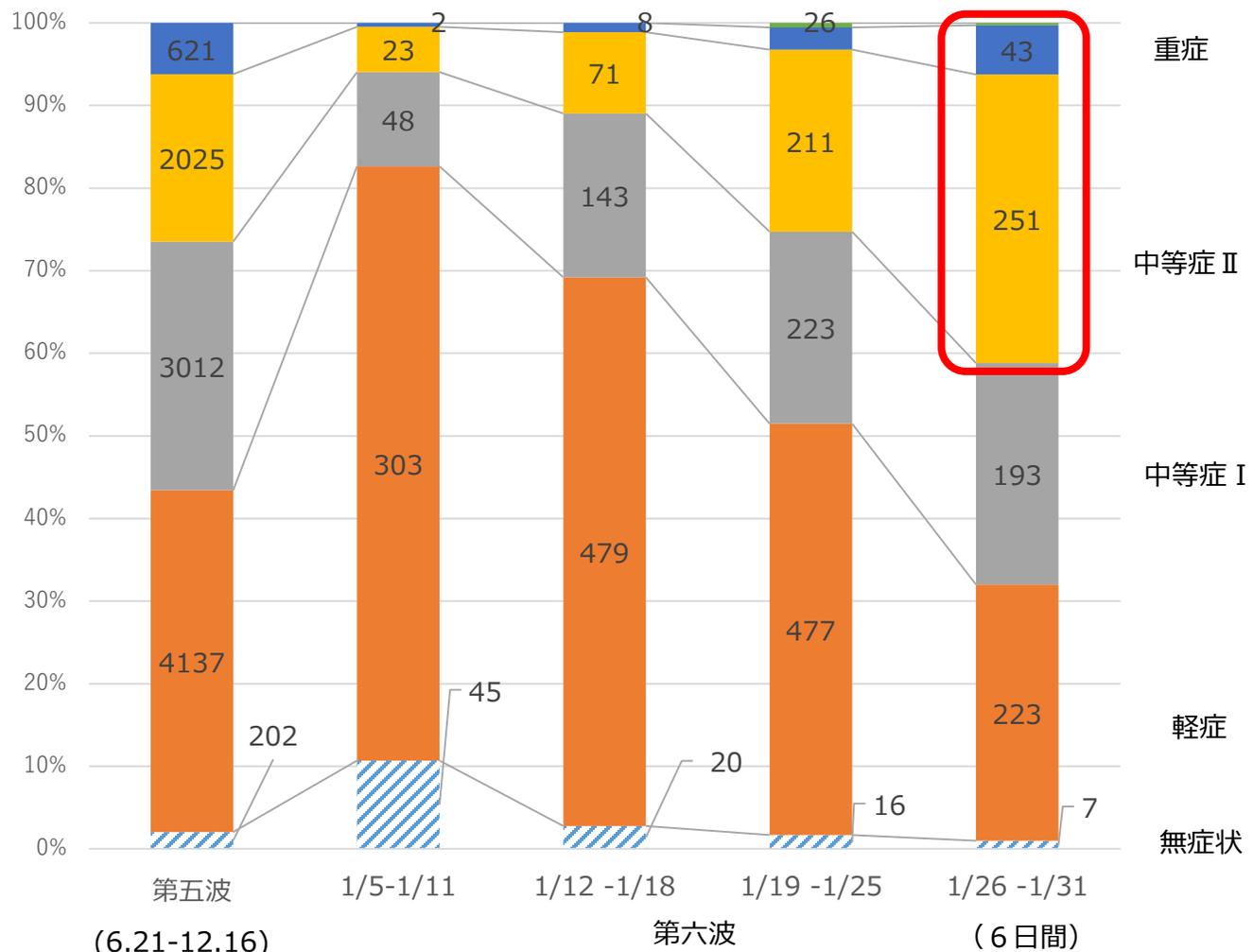
第五波は、最大療養者数となった日

※ 1月5日に患者の全員入院対応。1月7日、1月25日に入院・宿泊療養対象を見直し

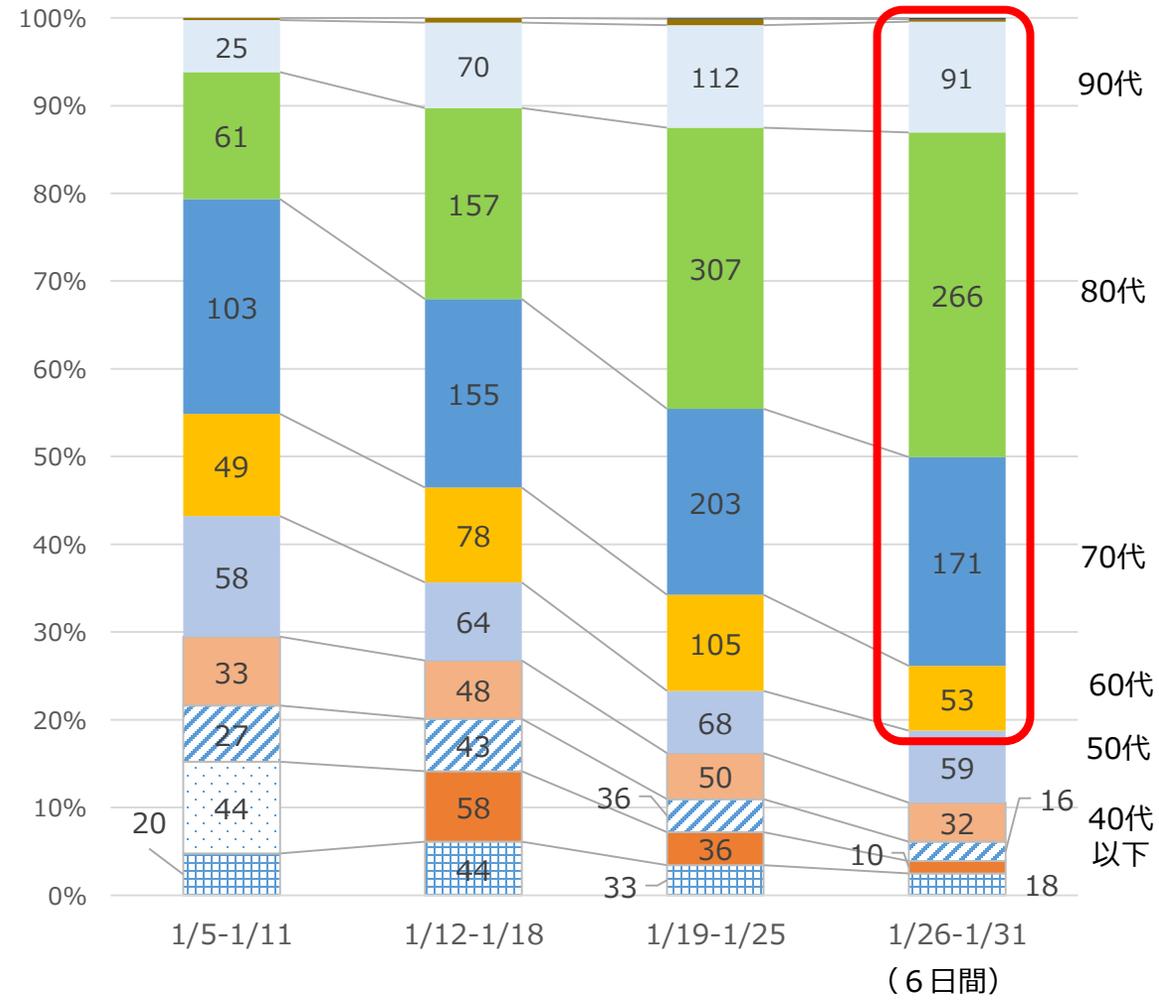
入院調整時の入院患者の症状及び年代割合

◆ 第六波における入院調整時の患者の症状として、直近6日間は中等症Ⅱ以上が4割強を占めている。
また、年代割合としては、60代以上が8割強を占めている。

入院調整時の入院患者の症状 (1/5~1/31)



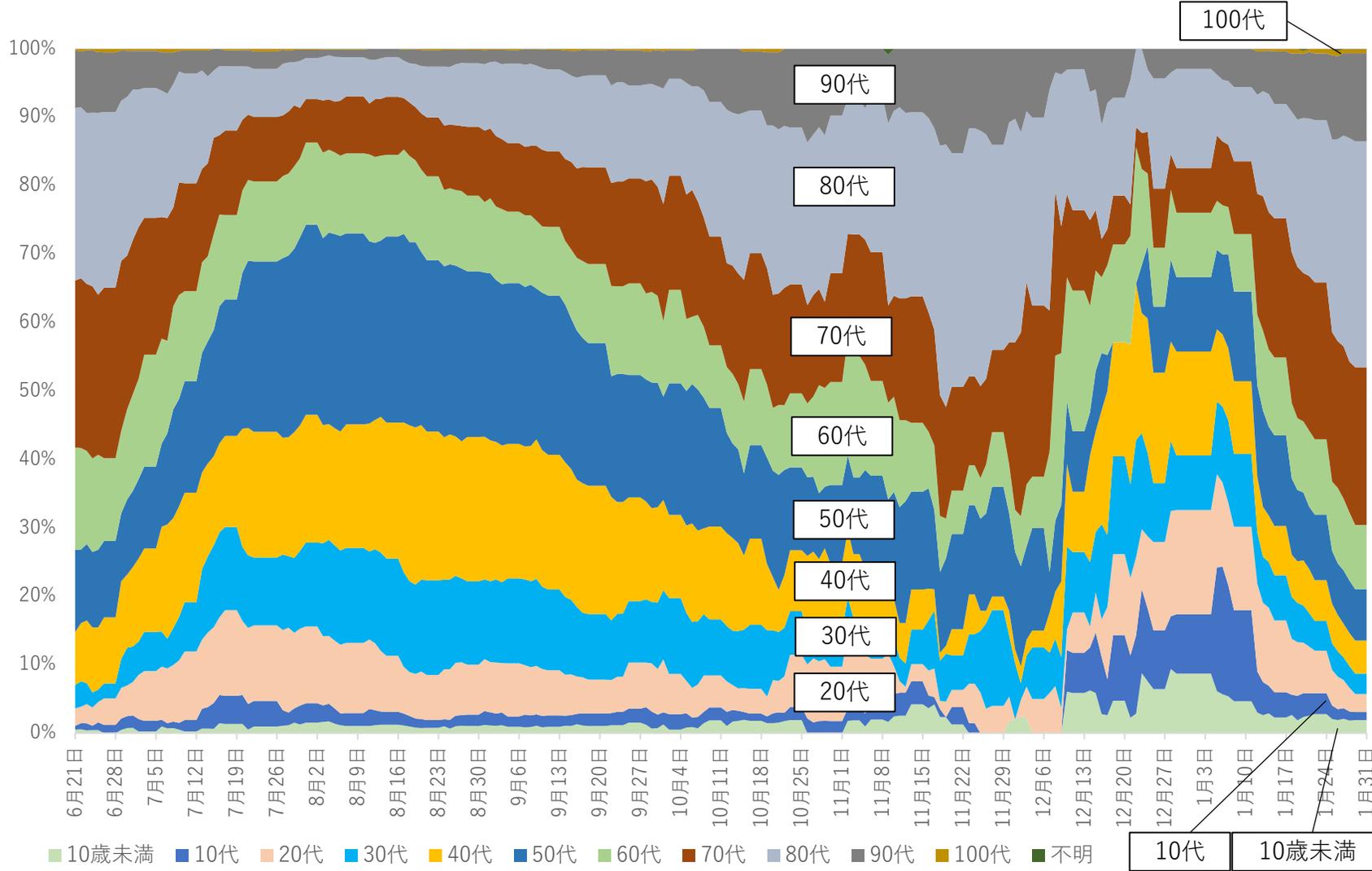
入院調整時の入院患者の年代別割合 (1/5~1/31)



※全員原則入院の方針を見直した1/5以降で分析 ※症状は入院調整時の患者の症状であり、入院後に症状が変化している可能性がある。※「大阪府療養者情報システム (O-CIS)」のデータに基づく。

軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（1月31日時点）

◆ 1月31日時点で、60代以上は78.9%。



	第五波 (9/2)	1/17	1/24	1/31
100代	0.1%	0.4%	0.6%	0.6%
90代	1.8%	7.7%	9.7%	12.9%
80代	10.9%	16.7%	23.7%	33.0%
70代	10.3%	20.3%	22.9%	23.0%
60代	10.7%	11.4%	11.0%	9.4%
50代	23.7%	13.2%	9.6%	7.5%
40代	20.1%	7.2%	6.0%	4.8%
30代	12.1%	6.6%	4.3%	3.0%
20代	7.5%	10.5%	6.2%	2.7%
10代	1.8%	3.7%	3.0%	1.1%
10歳未満	1.1%	2.3%	2.8%	1.9%
60代以上	33.7%	56.5%	68.0%	78.9%
60代未満	66.3%	43.5%	32.0%	21.0%

※ 1月5日に患者の全員入院対応、1月7日に入院・宿泊療養対象を見直し

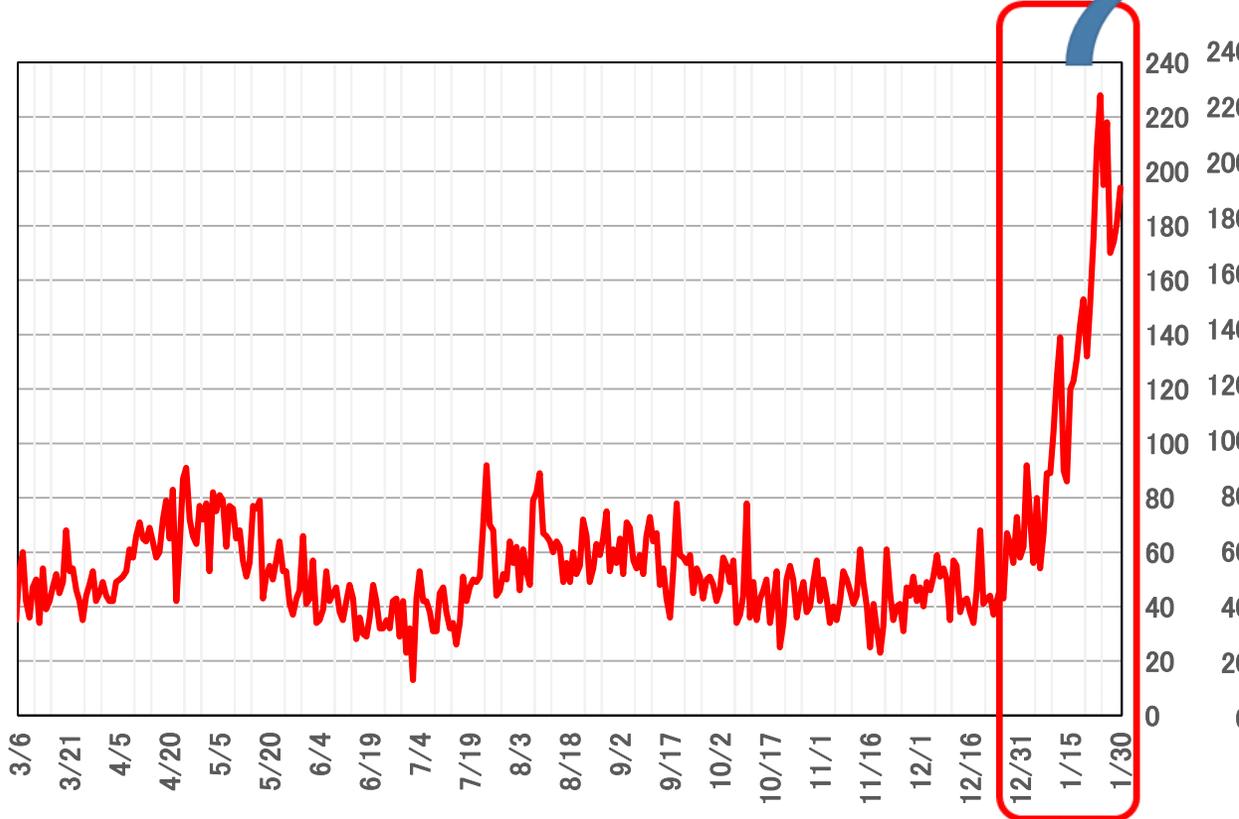
第五波は、最低入院率となった日

一般救急患者の搬送困難事案件数

◆ 年明け以降の急激な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、府内の救急患者の搬送において、搬送困難事案(※)の件数が増加し、一般救急医療がひっ迫状態。

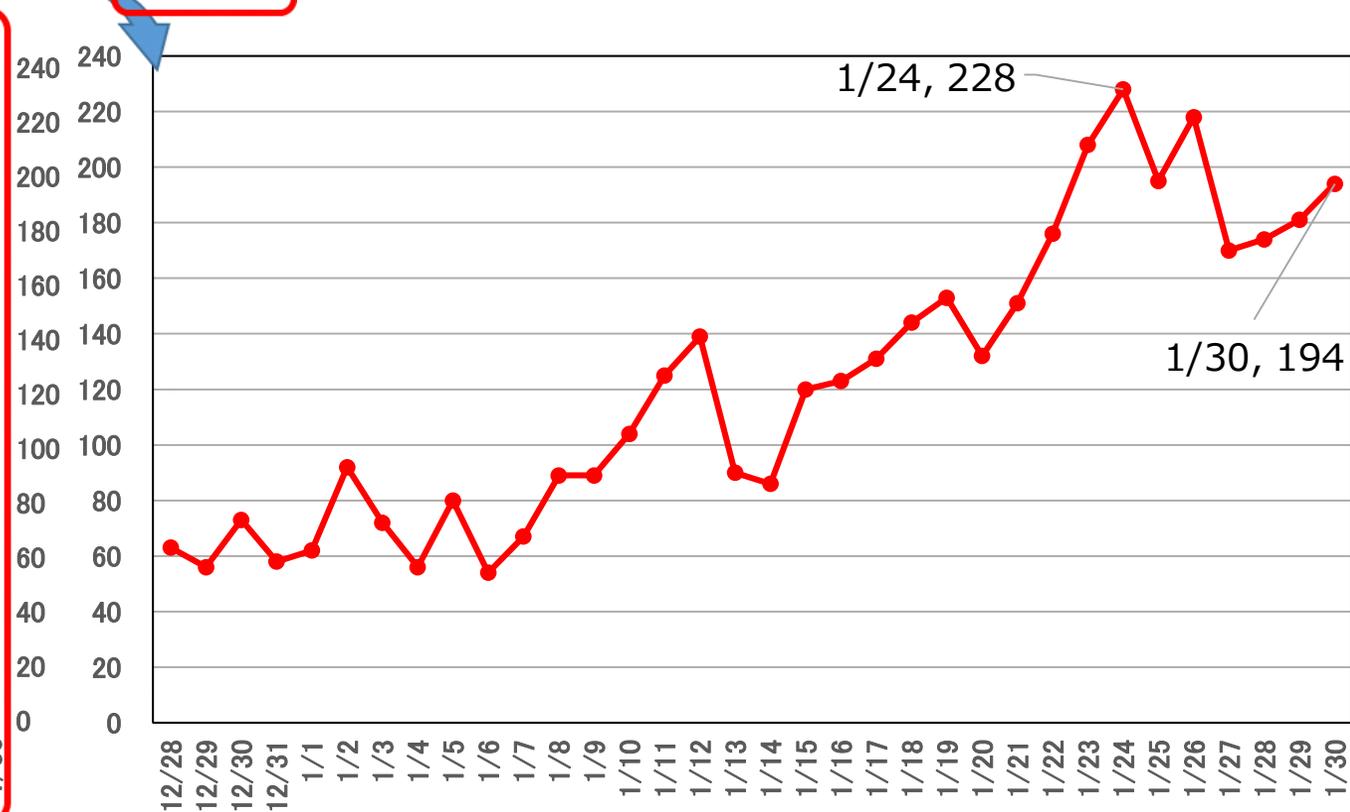
(※)「医療機関への受入照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

大阪府(全圏域)における搬送困難事案件数(第四波以降)



拡大

大阪府(全圏域)における搬送困難事案件数(年末以降)



※府内の救急告示医療機関における院内感染や発熱外来受診患者の増加に伴い、救急診療制限等が生じ、搬送困難事案件数が増加しているものと考えられる。

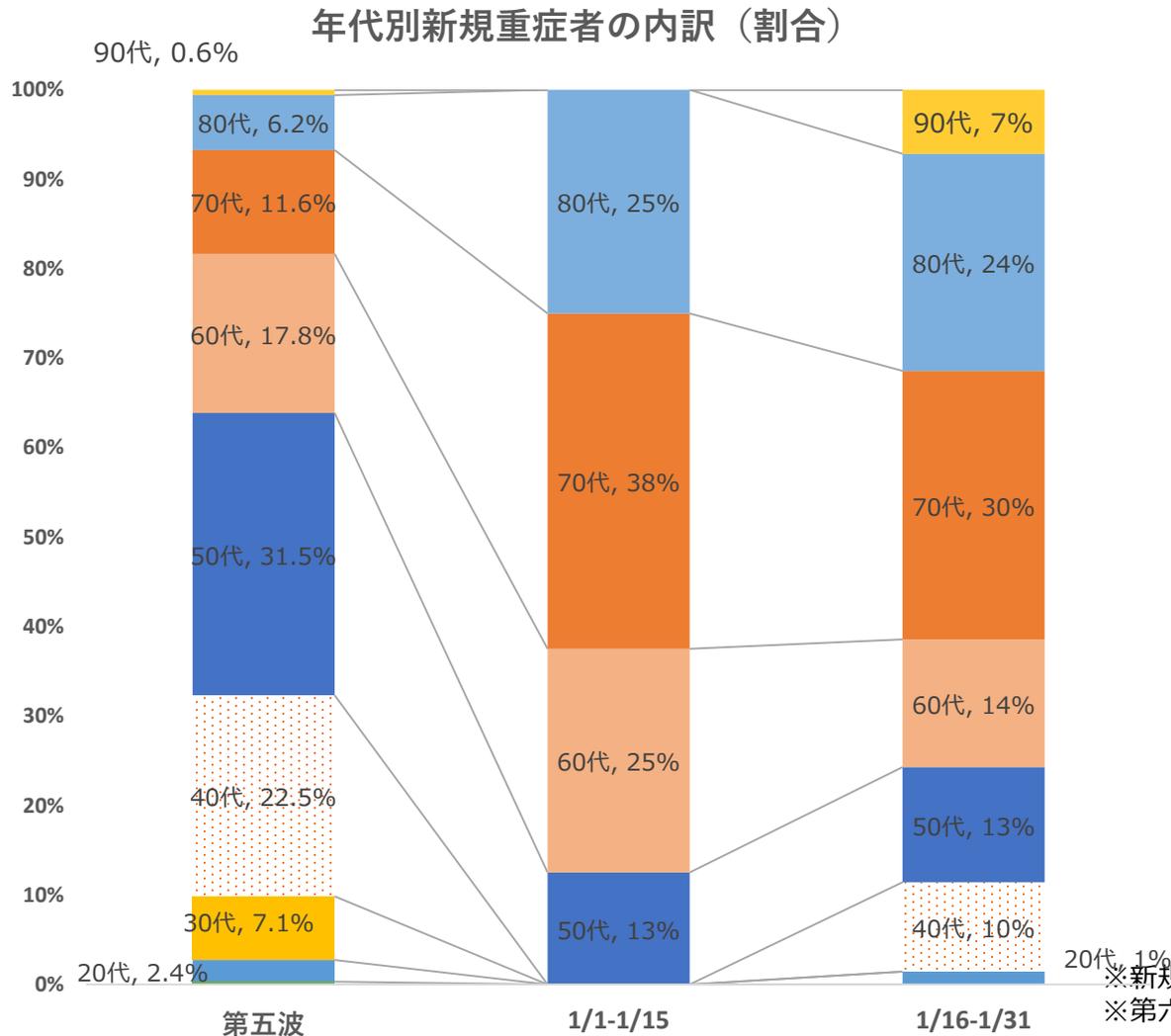
そのほか、新型コロナ患者の受入れや発熱外来の体制の確保等、診療体制の変更(人員配置等)による影響も考えられる。

4 重症者・死亡例の分析

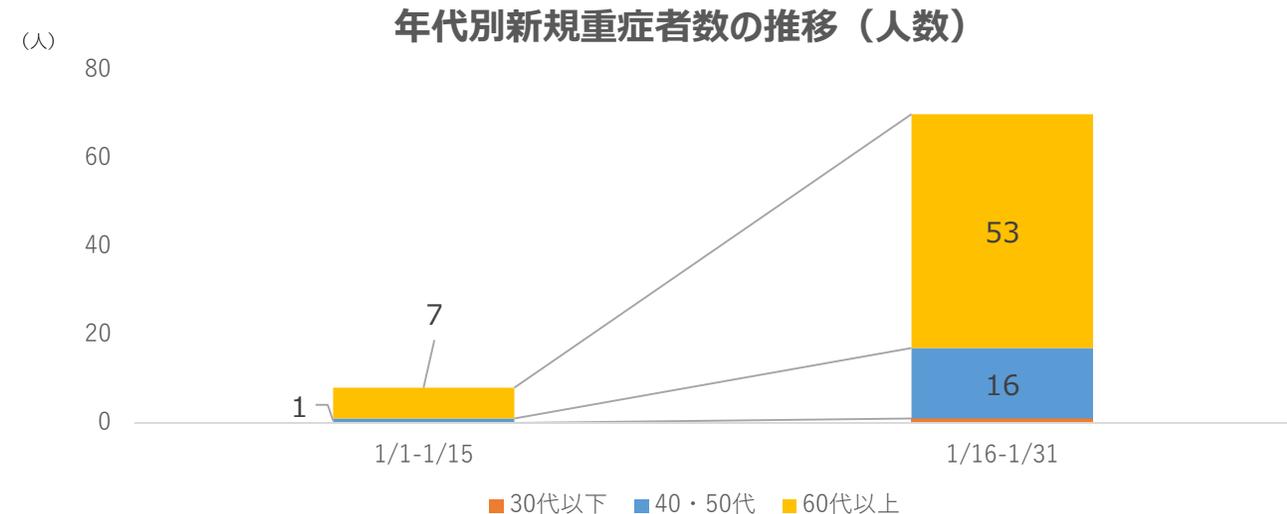
年代別新規重症者の内訳（公表日別）（1月31日時点）

◆ 新規重症者は、第五波と異なり、第六波では60代以上が75%。直近の2週間で新規重症者数が急増。

※100代の新規重症者は0名



	第五波 (R3.6/21~12/16)	第六波 (R3.12/17~R4.1/31時点)
新規陽性者数累計	100,891人	128,602人
新規重症者数	1,024人	80人
30代以下	101人 (9.9%)	2人 (2.5%)
40・50代の割合	553人 (54.0%)	18人 (22.5%)
60代以上の割合	370人 (36.1%)	60人 (75.0%)



※新規重症者を公表日別に集計しているため、陽性判明日別に集計した各波の重症者数と人数が一致しない場合がある。
 ※第六波の各年代の割合は、1月31日時点までの新規重症者数に基づく。今後、新規重症者の推移により変動。

年代別重症化率及び死亡率の推移（陽性判明日別）（令和4年1月30日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6～7/12）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

◆ 第六波の重症化率は、1月30日時点で0.05%。死亡率（陽性者に占める死亡者数の割合）は0.04%。

重症化率	第一波 (R2.1/29-6/13)			第二波 (R2.6/14-10/9)			第三波 (R2.10/10-R3.2/28)			第四波 (R3.3/1-6/20)			第五波 (R3.6/21-12/16)			第六波（1/30時点） (R3.12/17-)		
	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率
19歳以下	79	1	1.3%	839	0	0.0%	3704	1	0.0%	6629	2	0.0%	22424	3	0.0%	33581	0	0.0%
20・30代	654	7	1.1%	4420	3	0.1%	11733	16	0.1%	19778	61	0.3%	44077	99	0.2%	47336	2	0.00%
40・50代	564	36	6.4%	2207	52	2.4%	9845	184	1.9%	15845	494	3.1%	26463	554	2.1%	27730	15	0.05%
60代以上	489	103	21.1%	1805	177	9.8%	10782	947	8.8%	12950	1200	9.3%	7821	368	4.7%	12868	49	0.38%
総計	1786	147	8.2%	9271	232	2.5%	36064	1148	3.2%	55318	1757	3.2%	100891	1024	1.0%	121819	66	0.05%

死亡率	第一波 (R2.1/29-6/13)			第二波 (R2.6/14-10/9)			第三波 (R2.10/10-R3.2/28)			第四波 (R3.3/1-6/20)			第五波 (R3.6/21-12/16)			第六波（1/30時点） (R3.12/17-)		
	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率
19歳以下	79	0	0.0%	839	0	0.0%	3704	0	0.0%	6629	0	0.0%	22424	1	0.0%	33581	0	0.0%
20・30代	654	0	0.0%	4420	0	0.0%	11733	1	0.0%	19778	7	0.0%	44077	4	0.0%	47336	0	0.0%
40・50代	564	6	1.1%	2207	4	0.2%	9845	17	0.2%	15845	88	0.6%	26464	63	0.2%	27730	3	0.01%
60代以上	489	81	16.6%	1805	138	7.6%	10782	920	8.5%	12950	1444	11.2%	7820	290	3.7%	12868	49	0.38%
総計	1786	87	4.9%	9271	142	1.5%	36064	938	2.6%	55318	1539	2.8%	100891	358	0.4%	121819	52	0.04%

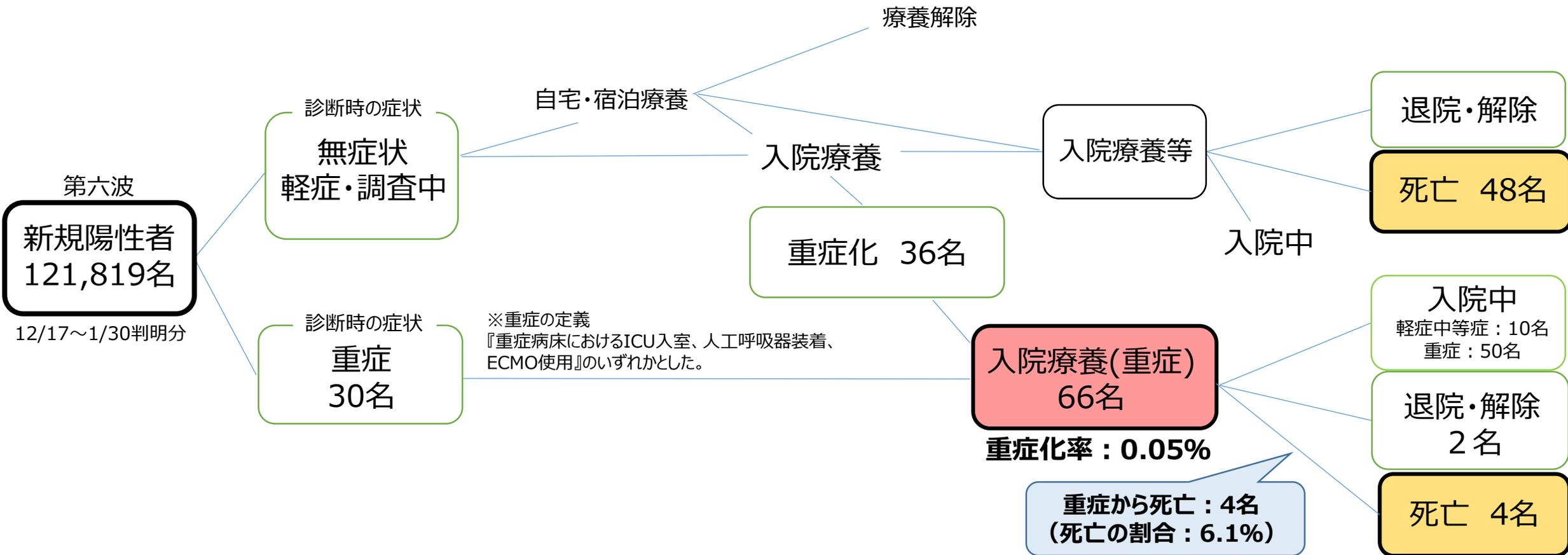
※死亡率：新規陽性者数に占める死亡者の割合。

※重症化率及び死亡率は1月30日判明時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

【第六波】重症及び死亡例のまとめ（令和4年1月30日判明時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

重症及び死亡例の経過



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2022/1/30判明時点

	累計 陽性者数	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	第六波	死亡者数 (死亡率)	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	第六波
		2020年 6/13まで	6/14~ 10/9	10/10~ 2/28	3/1~ 6/20	6/21~ 12/16	12/17~ 1/30		2020年 6/13まで	6/14~ 10/9	10/10~ 2/28	3/1~ 6/20	6/21~ 12/16	12/17~ 1/30
大阪府	325,149	1,786	9,271	36,064	55,318	100,891	121,819	3,116 (1.0%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	938 (2.6%)	1,539 (2.8%)	358 (0.4%)	52 (0.04%)
全国	2,575,056	17,179	70,012	343,342	350,398	943,478	850,647	18,721 (0.7%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	6,262 (1.8%)	6,510 (1.9%)	3,973 (0.4%)	353 (0.04%)

※重症率及び死亡率は1月30日判明時点
までの重症及び死亡者数に基づく。今後、
重症及び死亡者数・新規陽性者数の推
移により変動

【第五波・第六波】重症者のまとめ（令和4年1月30日時点）

◆ 第五波における全重症者数に占める60代以上の重症者の割合は35.9%であったところ、第六波は7割を超過。

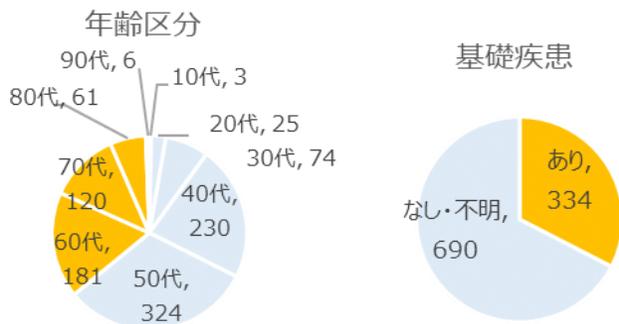
第五波（6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
重症者数	1,024
死亡	142
退院・解除	882
帰 入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が5例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：2.7%(922/34,284)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.7%(368/7,821)
 全陽性者数に占める重症者の割合：1.0%(1,024/100,891)



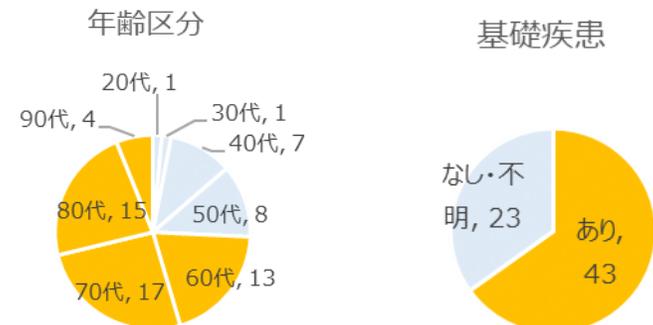
平均年齢：51.6歳
60代以上の割合：35.9%

第六波（12/17以降）

新規陽性者数	121,819
(再掲)40代以上(割合)	40,598(33.3%)
(再掲)60代以上(割合)	12,868(10.6%)
重症者数	66
死亡	4
退院・解除	2
帰 入院中（軽症）	10
入院中（重症）	50

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.2%(64/40,598)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.4%(49/12,868)
 全陽性者数に占める重症者の割合：0.05%(66/121,819)



平均年齢：64.3歳、
60代以上の割合：74.2%
 ※重症率は1月30日判明時点までの重症者数に基づき、
今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動

【第五波・第六波】死亡例のまとめ（令和4年1月30日時点）

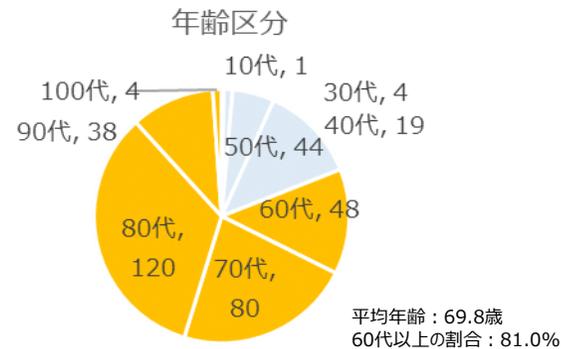
◆ 第六波の死亡例は60代以上が94.2%（第五波は81%）。

第五波（6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
死亡者数	358

■死亡例の割合

40以上の陽性者に占める死亡例の割合：1.0%(353/34,284)
 60以上の陽性者に占める死亡例の割合：3.7%(290/7,821)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.4%(358/100,891)



基礎疾患



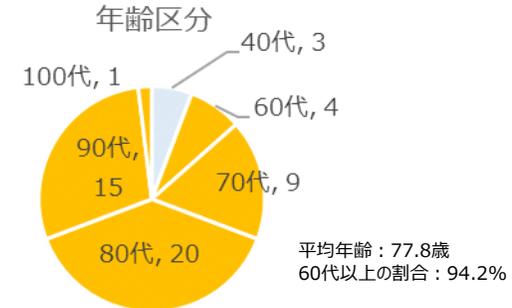
※死亡率は1月30日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数の推移により変動

第六波（12/17以降）

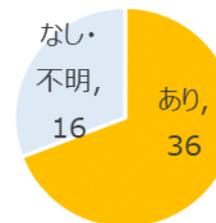
新規陽性者数	121,819
(再掲)40代以上(割合)	40,598(33.3%)
(再掲)60代以上(割合)	12,868(10.6%)
死亡者数	52

■死亡例の割合

40以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.1%(52/40,598)
 60以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.4%(49/12,868)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.04%(52/121,819)



基礎疾患



※死亡率は1月30日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

【第六波】重症及び死亡例のまとめ（令和4年1月30日判明時点）

- ◆ 重症例のうち、ワクチン接種なし又は不明が3分の2を占めるが、3分の1はワクチン2回接種済。
検査中・検査不可を除いた重症例のうち、約7割はオミクロン株又はL452R陰性。
- ◆ 死亡例においては、ワクチン2回接種済、接種なし・不明がそれぞれ2分の1で、検査中・検査不可を除いた死亡例の約8割はオミクロン株又はL452R陰性。

【重症例の変異株結果とワクチン接種状況】

【死亡例の変異株結果とワクチン接種状況】

※重症例66例のうち、4例は死亡のため重複あり

	合計	ワクチン接種状況		
		2回接種済	接種なし・不明	1回接種済
オミクロン株	4	2	2	0
L452R陰性	17	5	12	0
L452R陽性	8	5	3	0
検査中・ 検査不可※1	37	12	25	0
総計	66	24	42	0

	合計	ワクチン接種状況		
		2回接種済	接種なし・不明	1回接種済
オミクロン株	4	4	0	0
L452R陰性	3	2	1	0
その他※2	2	1	1	0
検査中・ 検査不可※1	43	17	26	0
総計	52	24	28	0

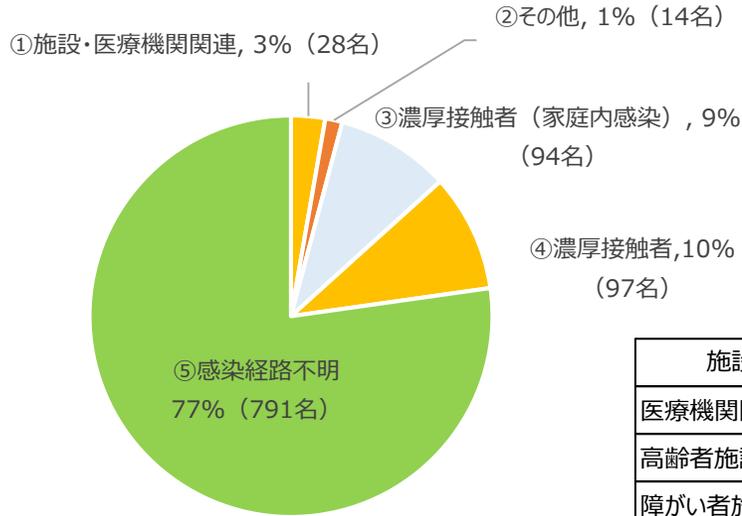
※1：判定不能含む。 ※2：初発患者がL452R陽性のため検査未実施：2名

【第五波】重症・死亡例について推定される感染経路（令和4年1月30日時点）

死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

◆ 第一波から第三波までの死亡例の推定される感染経路は、施設・医療機関関連が5割前後と多かったが、第四波で3割強に減少し、第五波は2割弱に減少（ワクチン接種による効果が想定される）。

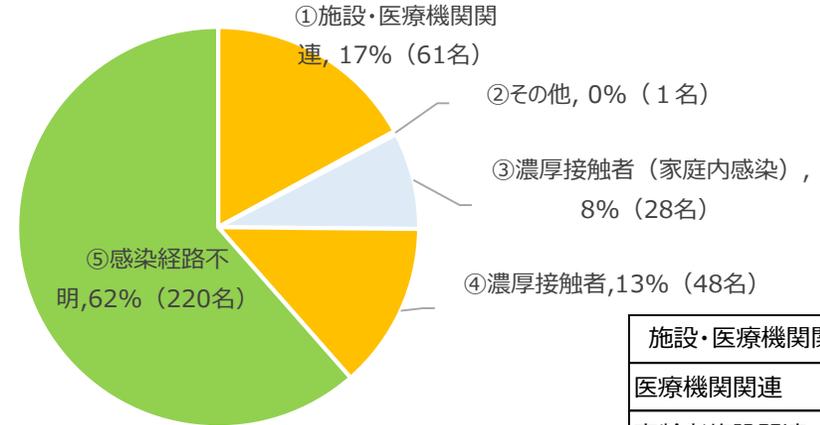
重症例（N=1024）について推定される感染経路



施設・医療機関関連(28名)の内訳	
医療機関関連	8
高齢者施設関連	17
障がい者施設関連	3

死亡例（N=358）について推定される感染経路

※重症例1024例のうち、142例は死亡のため重複あり



施設・医療機関関連 (61名)の内訳	
医療機関関連	30
高齢者施設関連	31

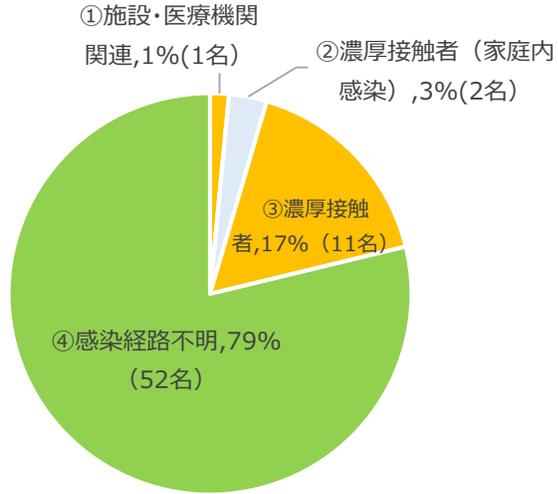
年代	重症例総数	感染経路内訳					陽性者総数	重症化率
		施設・医療機関関連	その他	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者	感染経路不明		
10代	3			1		2	14,445	0.02%
20代	25		1	3	1	20	27,012	0.09%
30代	74	1		4	6	63	17,066	0.43%
40代	230	2	2	22	25	179	15,521	1.48%
50代	323	3	9	35	41	235	10,942	2.95%
60代	181	2	2	9	14	154	3,690	4.91%
70代	121	3		15	5	98	2,221	5.45%
80代	61	12		5	5	39	1,494	4.08%
90代	6	5				1	397	1.51%
計	1,024	28	14	94	97	791	92,788	-

年代	死亡例総数	感染経路内訳					陽性者総数	死亡率
		施設・医療機関関連	その他	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者	感染経路不明		
10代	1			1			14,445	0.01%
30代	4					4	17,066	0.02%
40代	19			2		17	15,521	0.12%
50代	44		1	1	8	34	10,942	0.40%
60代	48	2		3	4	39	3,690	1.30%
70代	80	7		12	10	51	2,221	3.60%
80代	120	38		8	13	61	1,494	8.03%
90代	38	13		1	12	12	397	9.57%
100代	4	1			1	2	19	21.05%
計	358	61	1	28	48	220	65,795	-

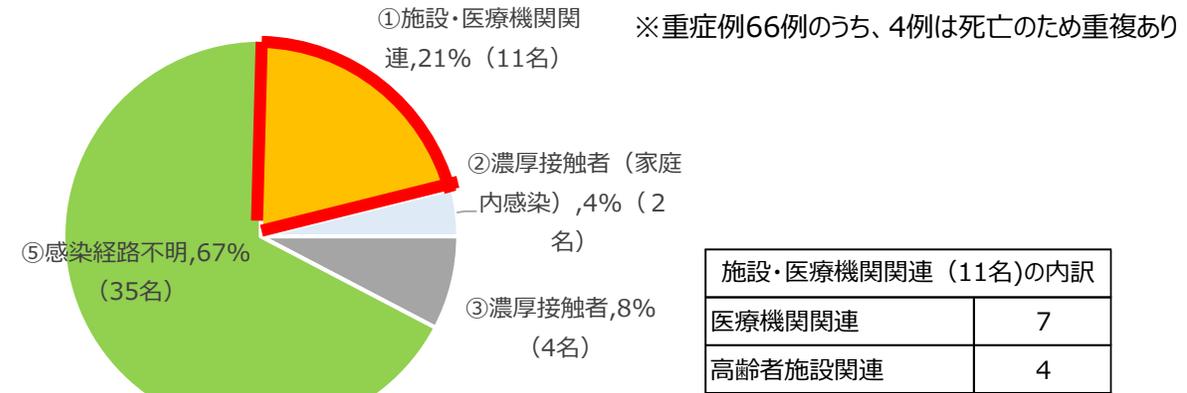
※重症率及び死亡率は令和4年1月30日時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

◆ 死亡例の感染経路として、第五波と比べ、第六波は、施設・医療機関関連が2割を超過。

重症例（N=66）について推定される感染経路



死亡例（N=52）について推定される感染経路



年代	重症例総数	感染経路内訳				陽性者総数	重症化率
		医療機関関連	濃厚接触者（家庭内感染）	濃厚接触者	感染経路不明		
20代	1				1	29,167	0.00%
30代	1				1	18,169	0.01%
40代	7			2	5	16,389	0.04%
50代	8		1		7	11,341	0.07%
60代	13			2	11	5,333	0.24%
70代	17			4	13	4,004	0.42%
80代	15	1	1	1	12	2,578	0.58%
90代	4			2	2	915	0.44%
計	66	1	2	11	52	121,819	0.05%

年代	死亡例総数	感染経路内訳				陽性者総数	死亡率
		施設・医療機関関連	濃厚接触者（家庭内感染）	濃厚接触者	感染経路不明		
40代	3			1	2	16,389	0.02%
60代	4				4	5,333	0.08%
70代	9	2		1	6	4,004	0.22%
80代	20	6		2	12	2,578	0.78%
90代	15	2	2		11	915	1.64%
100代	1	1				38	2.63%
計	52	11	2	4	35	121,819	0.04%

※重症率及び死亡率は令和4年1月30日時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

5 感染状況を踏まえた対応

オミクロン株感染まん延を踏まえた対応について(1月28日発表)

○ 大規模な感染が発生しており、陽性率も高水準の中、療養決定されていない陽性者が多数発生。

○ 新規陽性者へのフォロー体制のさらなる重点化を図り、ハイリスク者への確実なフォローを実施。

◆現状1：1日あたりの新規感染者数が約1万人に迫るなど、過去に類をみない感染規模

◆現状2：陽性率が1週間平均でも25%を超過するなど、市中に感染がまん延している状況

◆現状3：自宅療養者数と同程度の療養決定のなされていない入院・療養等調整中の数が発生

フォロー体制のさらなる重点化

療養決定

○ファーストタッチの対象者を 40歳以上に重点化

・重症化リスクのない39歳以下は、まずは自宅療養を基本とし、必要な情報をSMSを活用して周知。

宿泊療養を希望する場合は自宅待機SOSに連絡。

・リスクがある方は発生届から保健所が療養方針を決定。

・リスクのある39歳以下で保健所から連絡がない場合は、まず保健所に連絡のうえ、繋がらなければ自宅待機SOS(電話:0570-055221)に連絡。

・1月31日から実施

調査関連

○発生届の 入力体制の 効率化・強化

・医療機関による
HER-SYS入力を促進。

・発生届のFAXによる
届出方法の効率化。

・1月31日から実施

濃厚接触者

○濃厚接触者特定・検査の 重点化

・濃厚接触の可能性のある者

(同居家族や学校・児童関連施設等)
で症状のない場合は、検査をせず、自主的に健康観察を実施し、自宅待機。

(児童関連施設は必要に応じて保健所に相談)

・症状がある場合は、診療・検査医療機関を
自主的に受診。

・1月31日から実施

感染状況を踏まえた診療・検査の対応(1月28日発表、一部更新)

◆オミクロン株の感染状況を踏まえ、診療・検査体制を重点化 ⇒ 濃厚接触や症状の有無により対応を変更

	濃厚接触の可能性がある方	濃厚接触の可能性がない方
無症状	原則検査を受けず、陽性者との最終接触日から 7日間自主的に待機(8日目解除) ただし、 10日間 は、毎日の体温測定など自ら健康観察を実施	感染不安のある方は、 無料検査事業の対象 (まん延防止等重点措置期間が終了する2/20まで)
有症状	速やかに医療機関を受診 ○同居家族など:医師の判断により臨床症状のみで診断(疑似症患者) ○上記以外の方:医師の判断により検査で診断(確定患者) ※いずれも診断後の治療費は公費	速やかに医療機関を受診

- 重症化リスクの高い施設(高齢者施設や障がい児者施設)は、引き続き保健所が調査・検査を実施
- 児童関連施設(保育園等)については、調査・検査について保健所に相談可(必要に応じて、保健所が検査を実施)

◆R4.1.24付け国通知「新型コロナウイルス感染症の感染急拡大時の外来診療の対応について」を踏まえ、以下のとおり対応

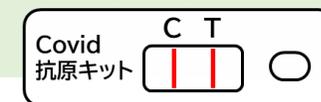
①受診者自らが実施した抗原定性検査キットで陽性となった場合の対応

⇒医師の判断により、再度の検査を行わず確定診断して差し支えない

○重症化リスクの低い方で有症状の場合、薬局等で購入した抗原定性検査キットがあれば、医療機関の受診前に自ら検査する

※重症化リスクの低い方とは、40歳未満で、基礎疾患や肥満等の危険因子が無く、ワクチン2回接種済みの方など

○陽性時は、その検査キットをスマートフォン等で撮影し、受診時に写真を医師に見せる



②電話診療・オンライン診療といった遠隔診療の積極的な活用

⇒既に対応済み

③同居家族などの陽性者の濃厚接触者が有症状である場合の対応変更

⇒医師の判断により、検査を行わず臨床症状のみで「疑似症患者」として診断可能

高齢者施設等への往診による治療の提供

- ◆ クラスタが発生した高齢者施設等の患者に対して、迅速な治療を提供することで重症化の予防を行い、病床のひっ迫の軽減を図ることとした。

- 高齢者施設等に対して、連携医療機関等の往診による抗体治療の整備を依頼
(R3年10月27日、R4年1月14日)
- 新型コロナ患者に対して往診を行う医療機関等（医療機関:129）に対して、
クラスタが発生した高齢者施設等への往診による中和抗体薬等の治療協力を要請
(特措法第24条第9項に基づく要請、R4年1月25日)
- **更なる協力医療機関の増に向けてお願い**（1月31日時点で38医療機関を確保）
※往診1回・患者1人あたり15,100円（回数上限あり）の協力金を交付

各圏域で施設対応の往診医療機関を確保し、リストを保健所と共有

高齢者施設等への往診による早期治療体制の確立

※症状に応じて緊急性が高い方から入院調整を順次実施

【往診までのフロー】



